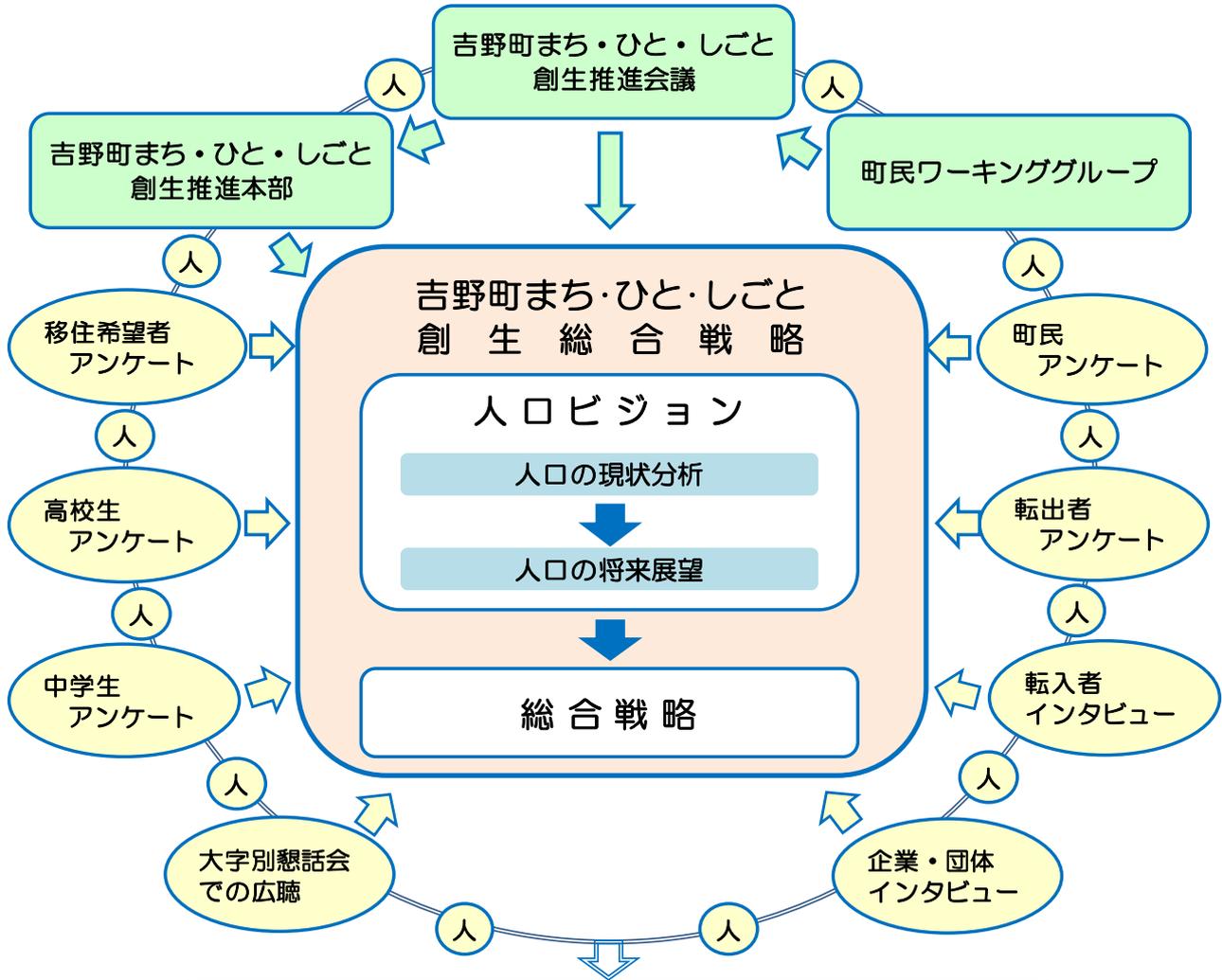


## 参考資料

吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定体制	2
吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議委員 名簿	4
吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略町民ワーキンググループ 名簿	5
吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱	6
吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略町民ワーキンググループ実施要綱	7
町民アンケート調査結果	8
転出者アンケート調査結果	20
移住希望者アンケート調査結果	25
高校生アンケート調査結果	30
中学生アンケート調査結果	37

吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定体制



「ひとの創生」こそが地方創生の要

「ひと」と「ひと」とが連携することにより、新たな雇用「しごと」をつくり、「まち」に活力をつくりだす。

計画策定と平行し、人材養成を实践

- 『地域リーダー・プロデューサー人材塾』の開講  
民間・公務員対象・・・各全5回
- 『各地区別講演会』の開催・・・町内6地区  
住民が自分たちの地域のことを、自ら知り気づき、自ら実践！  
「できない」を「できる！」に変える実現力～私たちは必ず「できる！」～
- 『地方創生セミナー』の開催・・・2回開催 対象：町内事業者  
・元気な商店街は、何がちがうのか？  
・地方の雇用と地場産業の方程式

吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議



町民ワーキンググループ

木工振興WG



木の子(女性G)WG



国栖の里振興WG



事業継承WG



スポーツ振興WG



観光振興(吉野山)WG



企業・団体インタビュー



人財塾



地区別講演会

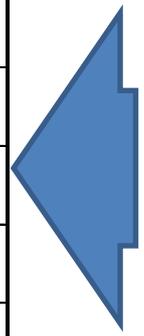


地方創生セミナー



吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議委員 名簿

	所 属	氏 名	備 考
1号委員	吉野スタイル	磯 崎 典 央	事業継承WG
	Re:吉野と暮らす会	石 橋 輝 一	木工WG
	木の子文庫	上 田 由 賀	木の子(女性G)WG
	おはなしらんどカンブリア	松 谷 圭 子	スポーツ推進WG
	NPO法人吉野スポーツクラブ	松 原 政 則	スポーツ推進WG
2号委員	吉野ビジターズビューロー	福 井 逸 生	木工WG 観光振興WG
	吉野手漉き和紙組合	福 西 正 行	国栖の里WG
	吉野製箸工業協同組合	奥 谷 純 子	国栖の里WG
	吉野製材工業協同組合 青年部	丸 充 彦	木工WG
	吉野町商工会	南 達 人	事業継承WG
3号委員	奈良県立吉野高等学校	上 田 裕 康	木の子(女性G)WG
	吉野町校舎長会	中 東 郁 雄	木の子(女性G)WG
4号委員	南都銀行上市支店	南 康 則	事業継承WG
5号委員	東京農業大学教授	木 村 俊 昭	



オブザーバー	奈良県 南部東部振興課	北 村 辰 治	
--------	-------------	---------	--

事務局	総合政策課	表 谷 充 康	
		小 泉 喜 弘	
		細 川 雅 康	
		紙 西 圭 祐	
		中 谷 将 輝	平成27年10月～

吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略町民ワーキンググループ 名簿

## 吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 町民ワーキンググループ

木工振興WG			木の子(女性G)WG			国栖の里振興WG		
①	推進委員 (リ-ダ-)	石橋 輝一	①	推進委員 (リ-ダ-)	上田 由賀	①	推進委員 (リ-ダ-)	福西 正行
②	推進委員	福井 逸生	②	推進委員	上田 裕康	②	推進委員	奥谷 純子
③	推進委員	丸 充彦	③	推進委員	中東 郁雄	③	グループ員	大西 秀明
④	グループ員	野口あすか	④	グループ員	小崎 佳代	④	グループ員	辻内 大祐
⑤	グループ員	阪口 勝行	⑤	グループ員	村井 郁枝	⑤	グループ員	上森 昌昭
⑥	グループ員	辰巳早苗江	⑥	グループ員	高樋 麻美	⑥	グループ員	宮下 保行
⑦	グループ員	坂本 尚世	⑦	グループ員	志賀 薫	⑦	グループ員	和田 泰弘
⑧	グループ員	坂本 哲郎	⑧	グループ員	山口 美香	⑧	グループ員	
⑨	グループ員 (職員)	山本 智康	⑨	グループ員 (職員)	紙森 智章	⑨	グループ員 (職員)	紙森 智章
⑩	グループ員 (職員)	瀧 剛 樹	⑩	グループ員 (職員)	森本 展代	⑩	グループ員 (職員)	梶谷 保行
事業継承(事業構想・後継者)WG			スポーツ振興WG (子ども養成、介護施設・保健師-回想法)			観光振興(吉野山)WG		
①	推進委員 (リ-ダ-)	南 達人	①	推進委員 (リ-ダ-)	松原 政則	①	推進委員 (リ-ダ-)	福井 逸生
②	推進委員	南 康則	②	推進委員	松谷 圭子	②	グループ員	東 利 明
③	推進委員	磯崎 典央	③	グループ員	佐々木 淑子	③	グループ員	林 啓 司
④	グループ員	有江 正太	④	グループ員	里田 徳幸	④	グループ員	下中 一平
⑤	グループ員	貝谷日出樹	⑤	グループ員	斎藤 麻美	⑤	グループ員	辻村 佳則
⑥	グループ員	上西 弘祐	⑥	グループ員		⑥	グループ員	西川 和男
⑦	グループ員	林 啓 司	⑦	グループ員		⑦	グループ員	
⑧	グループ員	岡本 隆志	⑧	グループ員		⑧	グループ員	
⑨	グループ員 (職員)	坂本圭至朗	⑨	グループ員 (職員)	坂本 大輔	⑨	グループ員 (職員)	椿本 久志
⑩	グループ員 (職員)	椿本 久志	⑩	グループ員 (職員)	山下 延代	⑩	グループ員 (職員)	中出 敬子

## 吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱

## 吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱

(設置)

第1条 吉野町におけるまち・ひと・しごと創生(まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号。以下「法」という。)第1条に規定するまち・ひと・しごと創生をいう。)に関し、法第10条に規定するまち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)の策定、推進及び検証にあたり、広く関係者の意見を反映させるため、吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議(以下「推進会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項について審議するものとする。

- (1) 総合戦略の策定に関する事項
- (2) 総合戦略の推進に関する事項
- (3) 総合戦略の検証に関する事項
- (4) その他総合戦略に関し必要な事項

(組織)

第3条 推進会議は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げるもののうちから、町長が委嘱する。

- (1) 住民で組織する団体の代表者
- (2) 産業関係の代表者
- (3) 教育関係の代表者
- (4) 金融機関の代表者
- (5) 学識経験のある者
- (6) その他町長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。

2 委員がかけた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員の再任は、妨げないものとする。

(会長及び代理者)

第5条 推進会議に会長及び副会長をおく。

2 会長及び副会長は委員の互選により選出する。

3 会長は、推進会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長が事故その他の理由により、その職務を行うことができないときは、会長の職務を代理する。

(会議)

第6条 推進会議の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、その議長となる。

2 会議は公開とする。

3 会長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

(庶務)

第7条 推進会議における庶務は、総合政策課において処理する。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成27年5月1日から施行する。

## 吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略町民ワーキンググループ実施要綱

## 吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略町民ワーキンググループ実施要綱

## (趣旨)

第1条 この要綱は、吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定過程における町民参画の場として、吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議内に町民ワーキンググループを設置することに関し、必要な事項を定めるものとする。

## (内容)

第2条 今回の総合戦略策定にあたり、町民ワーキンググループは、吉野町の人口の将来推計、各テーマに関する現状を踏まえ、今後のまちの目指すべき姿について議論するものとする。

## (任務)

第3条 町民ワーキンググループは、それぞれの所掌分野に関する事項について協議・検討を行い、その結果を吉野町まち・ひと・しごと創生推進会議に報告するものとする。

## (組織)

第4条 町民ワーキンググループは、それぞれ委員10人以内をもって組織し、リーダー及びグループ員をもって組織する。

2 町民ワーキンググループのグループ員はリーダーが選任する。

3 リーダーは、町民ワーキンググループを総括する。

## (会議)

第5条 町民ワーキンググループの会議は、リーダーが必要に応じて招集する。

2 リーダーは、必要と認めるときは、グループ員以外の者を会議に出席させ、意見を述べさせることができる。

## (職員参加)

第6条 町民の視点、町民の声を意識する機会を得るため、町民ワーキンググループに各所掌分野の担当課等の職員がグループ員として参加するものとする。

2 町民ワーキンググループに参加する職員は、担当課等からの推薦により決定する。

## (謝礼)

第7条 ワーキング委員の謝金の額は、日額3,000円とする。

2 前項の謝金は、会議の出席日数に応じて、その都度支給する。

## (その他)

第8条 この要綱に定めのない事項については、別に協議のうえ、定めるものとする。

附則 この要綱は、平成27年6月17日から施行し、平成28年3月31日をもって終了する。

## 町民アンケート調査結果

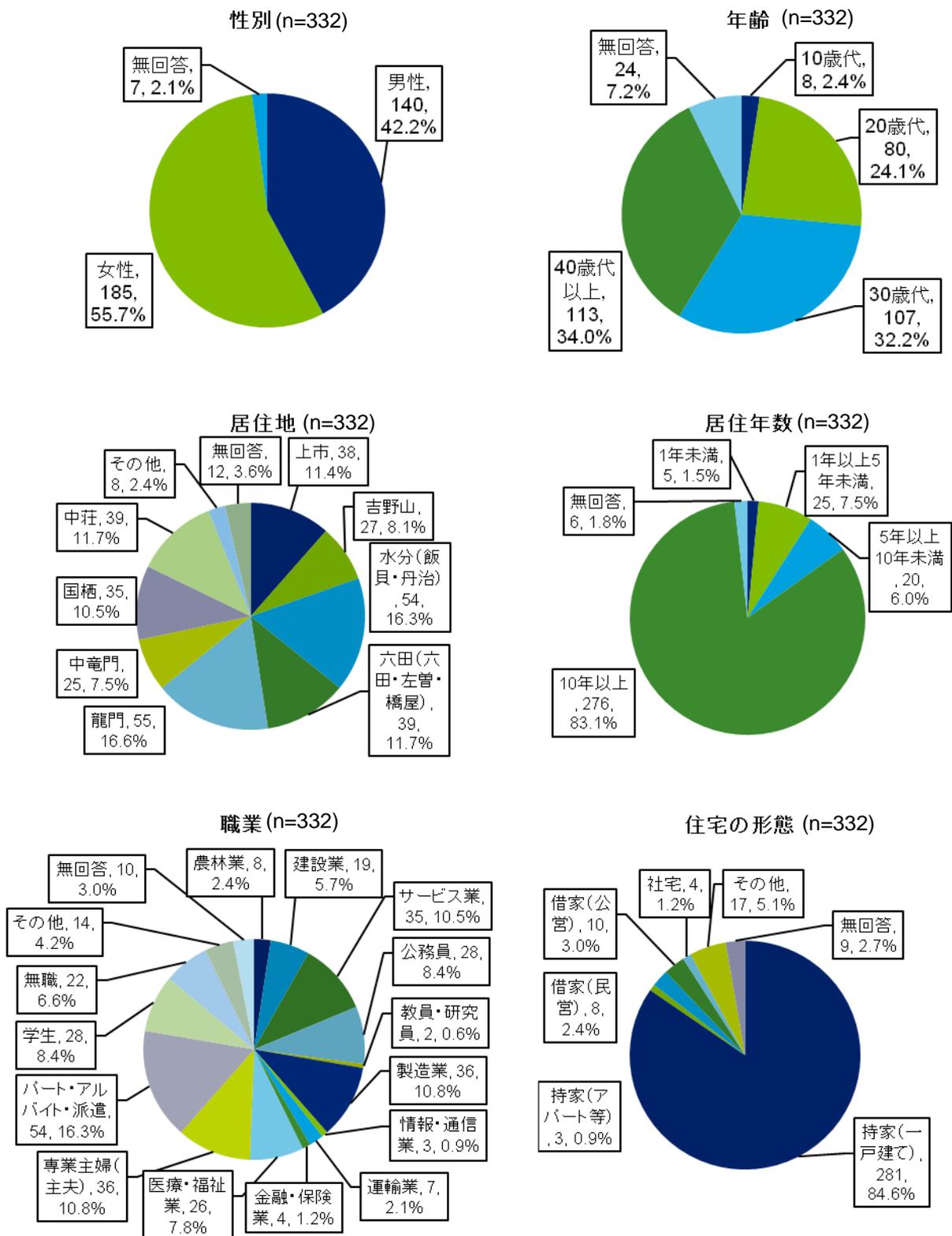
## 調査の概要

町民アンケートの調査概要は以下のとおりです

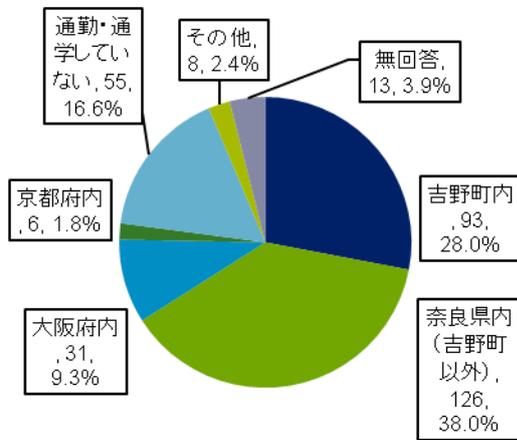
調査地域	吉野町全域
調査対象	吉野町内在住の満19歳～49歳までの1,000人
調査期間	平成27年6月12日(金)～7月2日(金)
調査方法	郵送による配布・回収
回収結果	回収率33.2%(332件/1,000件)

回答者の属性

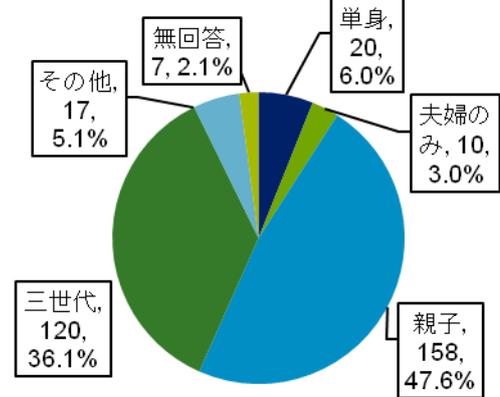
回答者の属性は、以下のとおりです。



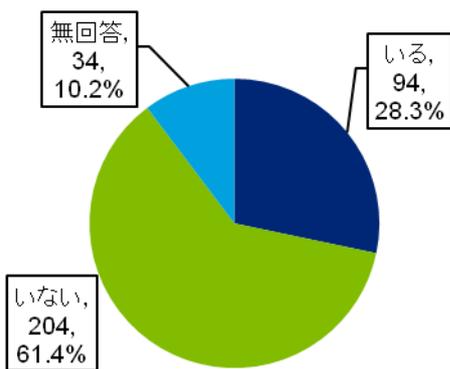
通勤・通学先 (n=332)



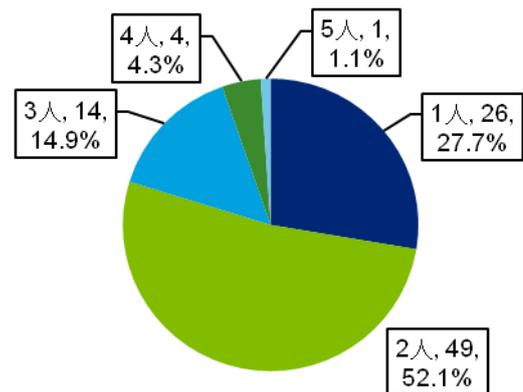
家族構成 (n=332)



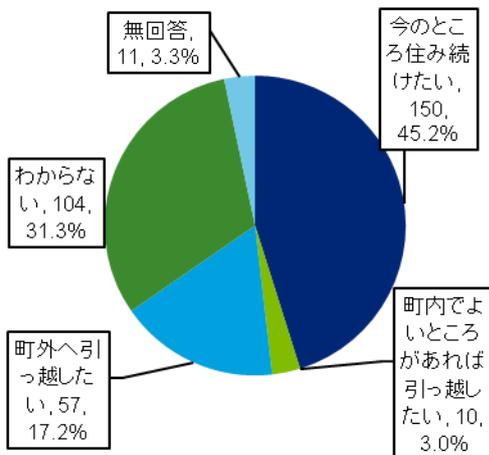
現在養育中の子どもの有無 (n=332)



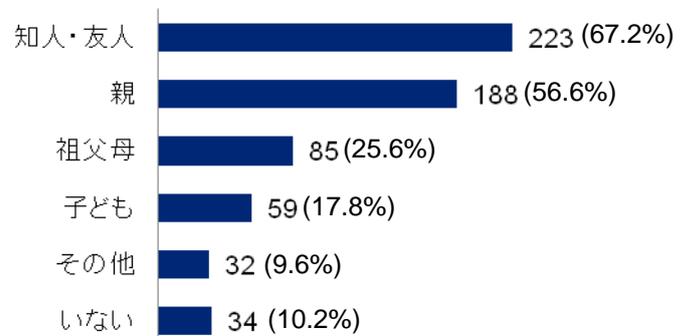
現在養育中の子どもの合計人数 (n=332)



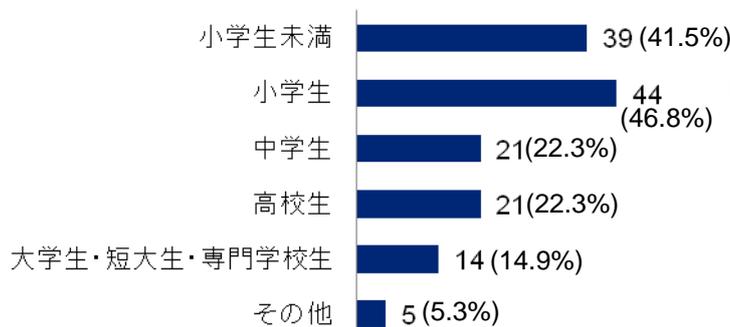
定住意向 (n=332)



親族や友人・知人 (n=332)

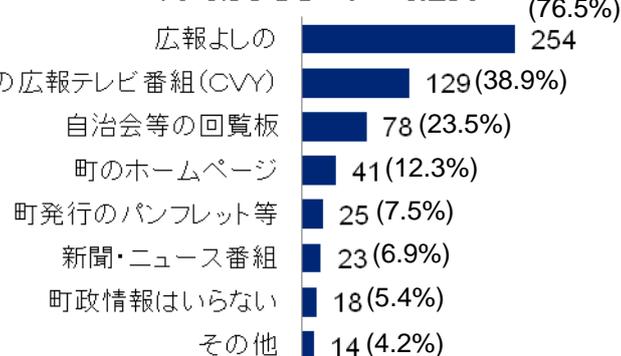


現在養育中の子どもがいる保護者数(n=94)



町政情報の入手方法 (n=332)

(あてはまるものすべて選択)

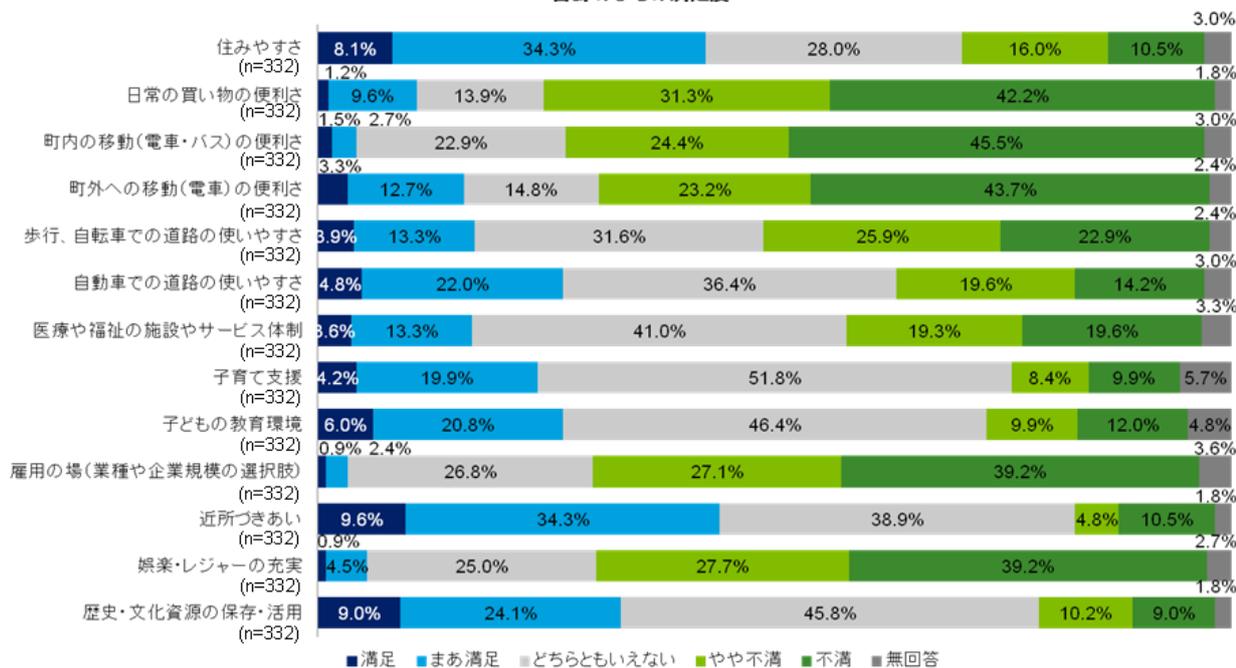


※「その他」の具体的な内容は「FacebookやTwitterなどのSNS」「周囲の人」などです。

### 吉野のまちの満足度

吉野のまちに対して「住みやすさ」「近所づきあい」などに満足している一方で、「日常の買い物の便利さ」「町内の移動の便利さ」「雇用の場」などに不満を感じています

吉野のまちの満足度



吉野町の魅力や誇り／経済活性化／若い人がいきいきと活動できる環境の実現

「山や川が身近にある自然環境」「桜や吉野大峯などの1300年の歴史と自然」に魅力や誇りを感じ、「安定した雇用先の確保」が経済活性化に必要であると感じています

吉野町の魅力や誇れるもの(3つまで選択可)	
山や川が身近にある自然環境	276 (83.1%)
桜や吉野大峯などの1300年の歴史と自然	256 (77.1%)
気候による過ごしやすさ	106 (31.9%)
まつり・行事などの地域におけるイベントの充実度	45 (13.6%)
教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな住民活動	10 (3.0%)
その他	19 (5.7%)
n=332	

※「その他」の具体的な内容は「騒音が少ない、静かであること(静かな環境)」「災害に強い」「安心、安全」「人々のつながり」「空気がきれい」「地区ごとの特色ある風土があること」「受け継がれる伝統料理」などです。

吉野町の経済を活性化するためのまちづくり(2つまで選択可)	
安定した雇用先の確保	153 (46.1%)
観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実	91 (27.4%)
企業誘致の推進	83 (25.0%)
農林水産業の振興	67 (20.2%)
中小企業・個人事業主への支援強化	61 (18.4%)
大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進	47 (14.2%)
起業化支援の強化	24 (7.2%)
その他	24 (7.2%)
n=332	

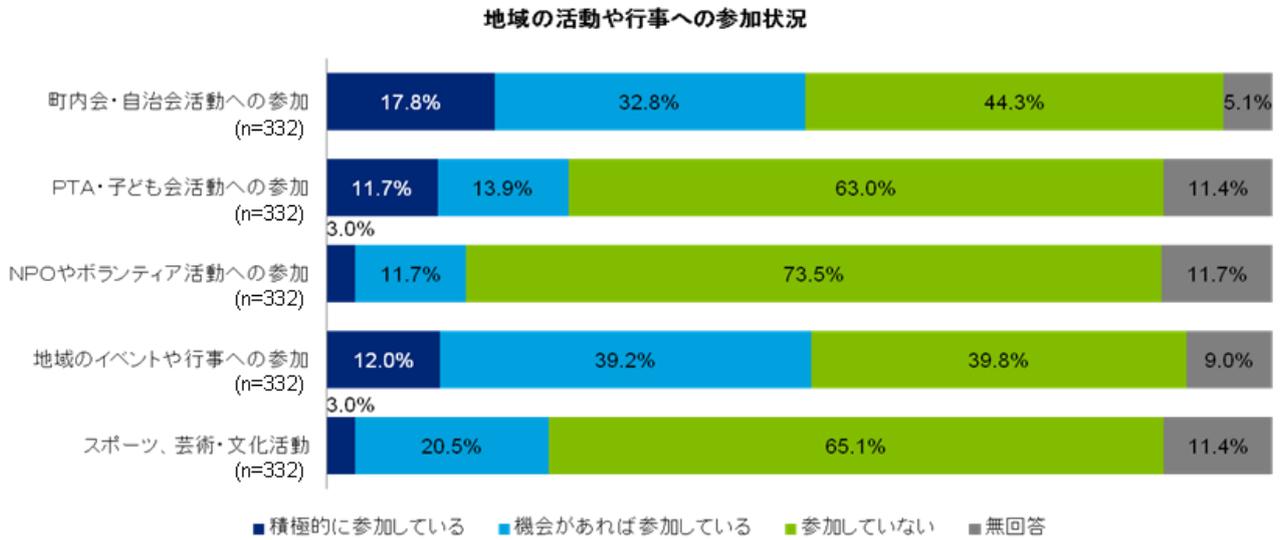
※「その他」の具体的な内容は「ゲーム・アニメなどサブカル企業の誘致」「若者のニーズに応えた町づくり」「子育てしやすい環境」「インフラ整備」「一年を通じて人が集まれる場所」「地場産業確立」「交通の便」などです。

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するためのまちづくり(2つまで選択可)	
若い人や女性への就労支援	146 (44.0%)
大学生や専門学校生などの地元就職の支援	99 (29.8%)
地元の小中学校や高校の魅力の向上	65 (19.6%)
若い人が交流する場の提供	62 (18.7%)
住民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援	61 (18.4%)
IJUターンの拡充	60 (18.1%)
町内会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充	42 (12.7%)
その他	21 (6.3%)
n=332	

※「その他」の具体的な内容は「育児のしやすい環境」「オモシロおかしい遊び心あるイベント」「娯楽施設の提供」「賃貸住宅の充実」「便利な交通手段」「大学生以外でも地元雇用をする会社を増やすこと！！もしくは起業する若手への支援による雇用、及び産業の拡大」「カフェ、シェアハウスの整備」などです。

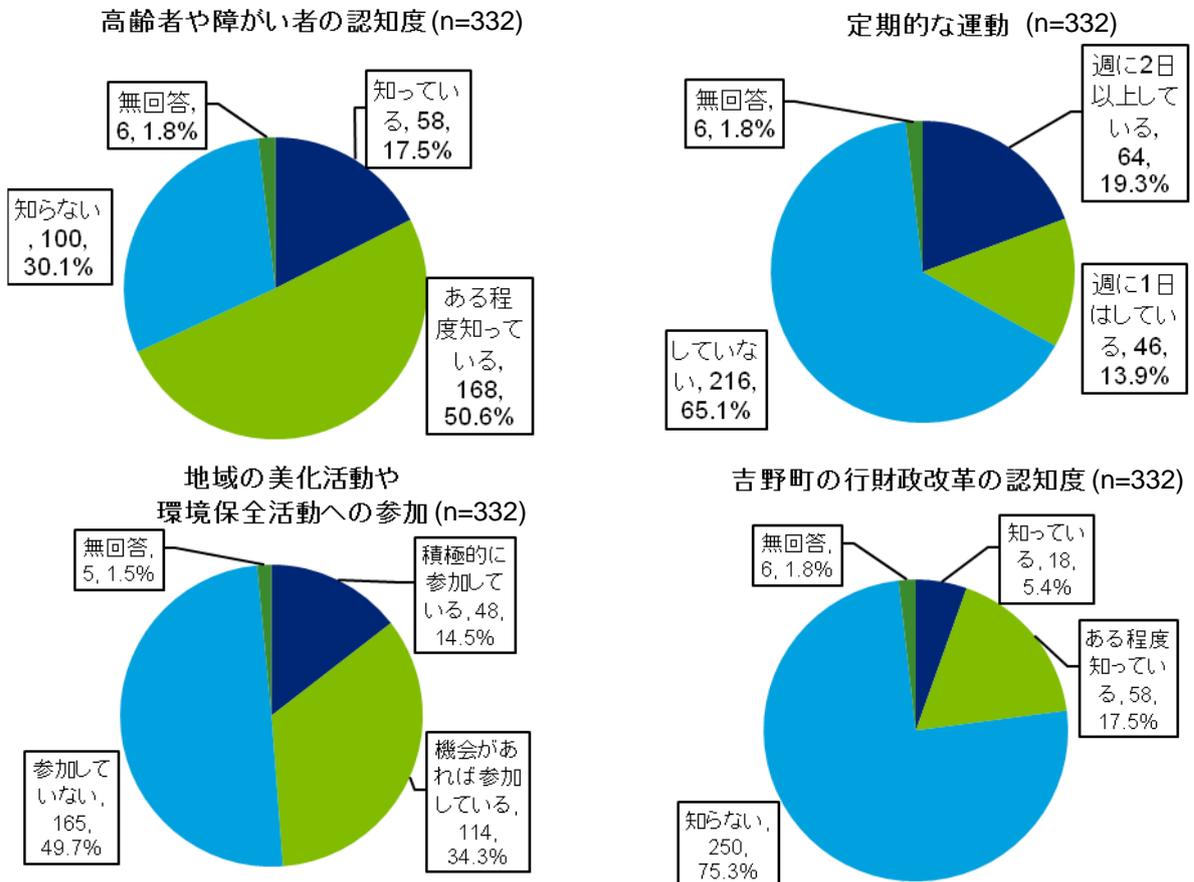
地域の活動や行事への参加状況

町内会・自治会活動や地域のイベントや行事に参加していますが、NPOやボランティア活動やスポーツ、芸術・文化活動には参加していない傾向にあります



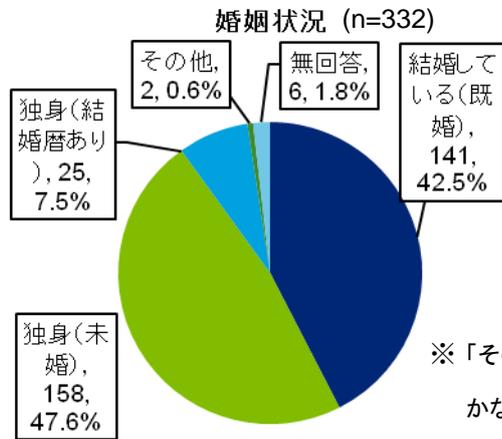
日常の行動

定期的な運動をしていない、環境保全活動に参加していない住民が半数程度であり、吉野町の行財政改革を知らない住民が約8割となっています



結婚・出産・子育てに対する考え方

独身の方が結婚していない理由は「結婚したいと思える相手がいない」が多く、行政に求める結婚支援は「安定した雇用の確保」が多くなっています



理由	人数	割合
結婚したいと思える相手がいない	80	43.7%
家族を養うほどの収入がない	54	29.5%
まだ若すぎる	41	22.4%
精神的に自由でいられる	35	19.1%
仕事(学業)に専念したい	32	17.5%
結婚資金が足りない	30	16.4%
経済的に自由でいられる	27	14.8%
結婚するつもりはない	17	9.3%
異性とうまくつきあえない	15	8.2%
その他	21	11.5%

n=183

※「その他」の具体的な内容は「機会がない」「遠距離恋愛のためなかなかうまくいかない」「老人の介護との背中合わせ」「子供が独立するまでは結婚しない」「結婚するつもりだが、まだそこまで話が進んでいない」などです。

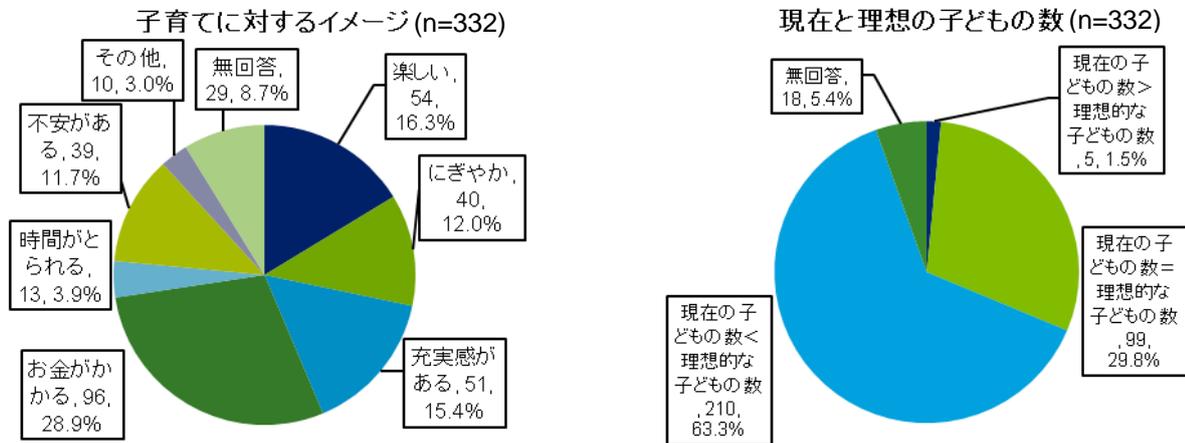
支援内容	人数	割合
安定した雇用の確保	204	63.2%
結婚に係る経済的支援	129	39.9%
婚活イベントなど出会いの場の提供	105	32.5%
行政が関わる必要はない	62	19.2%
結婚相談窓口(仲立ち)	37	11.5%
交際術やマナーなどを学ぶ講座	19	5.9%
若い世代(中学生・高校生)への結婚に対する講習会	11	3.4%
その他	26	8.0%

n=332

※「その他」の具体的な内容は「若くて収入が少ない夫婦でも、安心して住める住宅の拡充、購入支援」「婚活イベントよりも、地域全体での交流、イベントの場の充実が必要と思います。(出会い！婚活！では敷居が高い・・・)」「心理学、カウンセリング講座」「住居の充実(結婚しても住む所がない!)」「行政が支援する必要はない」などです。

結婚・出産・子育てに対する考え方

子育ては「お金がかかる」イメージを持つ住民が多く、「理想的な子どもの数」が「現在の子どもの数」より多い理由は「子育てや教育にお金がかかる」が多くなっています



※「その他」の具体的な内容は「興味がない」「子供がいない」「責任感」などです。

「理想的な子どもの数」が「現在の子どもの数」より多い理由(3つまで選択可)	
子育てや教育にお金がかかる	72 (34.3%)
高齢出産になるから	27 (12.9%)
自分の仕事に差し支える	20 (9.5%)
育児の心理的・肉体的負担が大きい	20 (9.5%)
ほしいけれどもできない	18 (8.6%)
子育てを手助けする人がいない	13 (6.2%)
住居が狭い	11 (5.2%)
自分や夫婦の生活を大切にしたい	10 (4.8%)
健康上の理由	8 (3.8%)
配偶者の協力が得られない	4 (1.9%)
その他	36 (17.1%)
n=210	

※「その他」の具体的な内容は「結婚していないため」「すべての条件が満たせれば多い方がいい」「理想と現実の差がまだまだわからない」「自分で未代で良いと思っている」「産み分けが出来ないから」「結婚して期間がたっていないため」などです。

吉野町のまちに“満足していること”

町民アンケートにおける自由意見(吉野町のまちに“満足していること”)の結果は以下のとおりです

政策	基本施策	施策名	件数	割合	政策	基本施策	施策名	件数	割合	
豊かな未来に いのちが輝く まちづくり	未来を担う 子どもの 育成	子育て環境の整備	5	2.3%	自然・環境・ 産業が 調和した 持続可能な まちづくり	地域資源を 活かした環 境・交流の促 進	魅力あふれる観光の振興	0	0.0%	
		子育て支援の充実	14	6.5%			地域間交流と定住の促進	0	0.0%	
		学校教育の充実	7	3.3%						
		地域ぐるみでの健全育成	3	1.4%						
	学びあい生きがい がもてる地域社会 の構築	社会教育と生涯学習の推進	社会教育と生涯学習の推進	0	0.0%	安全安心で 快適な まちづくり	安全安心な 暮らしを支 えるまち づくり	地域防災力の向上	3	1.4%
			社会体育と生涯スポーツの推進	0	0.0%			消防・救急体制の充実	0	0.0%
			世界遺産・歴史文化の保全と活用	9	4.2%			交通安全・防犯対策の推進	3	1.4%
			人権が尊重されるまちづくり	0	0.0%			相談業務の充実	0	0.0%
			健康づくり事業の充実	1	0.5%			安全で快適な道路・河川の整備	0	0.0%
	生き生きと暮 らせる健康 のまちづくり	高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	0	0.0%	生活基盤の 充実した快 通で住みよ いまちづくり		安全で快適な上下水道の整備	0	0.0%
			地域医療の充実	4	1.9%			利便性の高い公共交通システムの構築	4	1.9%
			高齢者福祉の充実	0	0.0%			安全で快適な居住環境の整備	14	6.5%
			障害者福祉の充実	0	0.0%			地域特性を活かした土地利用の推進	0	0.0%
			障害者福祉活動の充実	0	0.0%					
	みんなで支 えあう福祉 のまちづくり	社会保障制度の円滑な運営	社会保障制度の円滑な運営	0	0.0%	みんなで つくる 吉野町	住民参加と 協働のまち づくりの推 進	協働のまちづくりの推進	3	1.4%
住民参加と開かれた町政の推進			1	0.5%	高度情報化の推進			0	0.0%	
財政健全化と開かれた町政の推進			0	0.0%	職員の人材育成			0	0.0%	
自然・環境・産業が 調和した 持続可能な まちづくり	豊かな自然と 恵まれた環 境の保全	自然環境の保全・保護	88	40.9%	効率的で効 果的な行政 経営の推 進		職員の人材育成	0	0.0%	
		廃棄物の適正な処理	0	0.0%			広域連携の推進	0	0.0%	
		環境保全対策の充実	1	0.5%			計画の適切な進行管理	0	0.0%	
		低炭素社会の実現への取り組み	0	0.0%						
	吉野の魅力 を活かした 産業の振興	農林漁業の振興	農林漁業の振興	1	0.5%	その他		その他	15	7.0%
			商工業の振興	0	0.0%			特になし	39	18.1%
			新しい産業の創出と企業誘致の推進	0	0.0%			合計	215	100.0%

町民アンケートにおける自由意見(吉野町のまちに“満足していること”)の結果の主な内容は以下のとおりです

政策	基本施策	施策名	主な意見	
豊かな未来に いのちが輝く まちづくり	未来を担う子どもの 育成	子育て環境の整備	「自然などの子育て環境」に満足しているという意見がありました。	
		子育て支援の充実	「少人数の学校教育」「経済的な支援」「子どもの医療費無料」に満足しているという意見がありました。	
		学校教育の充実	「保育や学校カリキュラム」「子どもが少なく教育しやすいこと」に満足しているという意見がありました。	
		地域ぐるみでの健全育成	「近所付き合いがよい」に満足しているという意見がありました。	
学びあい生きがい がもてる地域社会 の構築	世界遺産・歴史文化の保全と活用	世界遺産・歴史文化の保全と活用	「歴史・自然・文化が豊か」「歴史的遺産が多い」に満足しているという意見がありました。	
		健康づくり事業の充実	「自分に適した体力づくりができる」に満足しているという意見がありました。	
生き生きと暮 らせる健康 のまちづくり	地域医療の充実	地域医療の充実	「中学生までの医療費助成」「医療体制」に満足しているという意見がありました。	
		自然環境の保全・保護	「自然が豊か」「空気がきれい」「静か」に満足しているという意見がありました。	
自然・環境・産業が 調和した持続 可能なまちづくり	豊かな自然と恵ま れた環境の保全	環境保全対策の充実	「空気などの環境がよい」に満足しているという意見がありました。	
		吉野の魅力を活か した産業の振興	農林漁業の振興	「働ける環境」に満足しているという意見がありました。
		安全安心な暮らし を支えるまちづくり	地域防災力の向上	地域防災力の向上
交通安全・防犯対策の推進	「治安がよい」に満足しているという意見がありました。			
安全安心で 快適なまちづくり	生活基盤の充実し た快適で住みよ いまちづくり	利便性の高い公共交通システムの構築	「電車やバスの便利さ」「大隈に通動できる」に満足しているという意見がありました。	
		安全で快適な居住環境の整備	「住みやすさ」「気候がよく静か」「騒音が少ない」に満足しているという意見がありました。	
みんなでつくる 吉野町	住民参加と協働の まちづくりの推 進	協働のまちづくりの推進	「近所付き合い」に満足しているという意見がありました。	
		住民参加と開かれた町政の推進	「行政が一生涯懸命取り組んでいる」に満足しているという意見がありました。	
その他			「のんびりしている」「人が温かい」に満足しているという意見がありました。	

吉野町のまちに“不満に感じていること”

町民アンケートにおける自由意見(吉野町のまちに“不満に感じていること”)の結果は以下のとおりです

政策	基本施策	施策名	件数	割合	政策	基本施策	施策名	件数	割合	
豊かな未来に いのちが輝く まちづくり	未来を担う 子どもの 育成	子育て環境の整備	19	7.9%	自然・環境・ 産業が 調和した 持続可能な まちづくり	地域資源を 活かした環 境・交流の促 進	魅力あふれる観光の振興	15	6.3%	
		子育て支援の充実	7	2.9%			地域間交流と定住の促進	6	2.5%	
		学校教育の充実	2	0.8%				0	0.0%	
		地域ぐるみでの健全育成	0	0.0%			0	0.0%		
	学びあひ生 きがいをも てる地域社会 の構築	社会教育と生涯学習の推進	社会教育と生涯学習の推進	0	0.0%	安全安心で 快適な まちづくり	安全安心な 暮らしを支 えるまち づくり	地域防災力の向上	0	0.0%
			社会体育と生涯スポーツの推進	0	0.0%			消防・救急体制の充実	0	0.0%
			世界遺産・歴史文化の保全と活用	2	0.8%			交通安全・防犯対策の推進	4	1.7%
		健康づくり事業の充実	健康づくり事業の充実	0	0.0%			相談業務の充実	0	0.0%
			高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	0	0.0%			安全で快適な道路・河川の整備	7	2.9%
			地域医療の充実	13	5.4%			安全で快適な上下水道の整備	2	0.8%
	みんなで支 えあう福祉 のまちづくり	高齢者福祉の充実	高齢者福祉の充実	1	0.4%	生活基盤の 充実した快 適で住みよ いまちづくり	生活基盤の 充実した快 適で住みよ いまちづくり	利便性の高い公共交通システムの構築	73	30.5%
			障害者福祉の充実	0	0.0%			安全で快適な居住環境の整備	5	2.1%
			地域福祉活動の充実	2	0.8%			地域特性を活かした土地利用の推進	4	1.7%
	自然・環境・ 産業が調和した 持続可能な まちづくり	豊かな自然 と恵まれた 環境の保全	自然環境の保全・保護	0	0.0%	みんなで つくる 吉野町	住民参加と 協働のまち づくりの推進	協働のまちづくりの推進	2	0.8%
			廃棄物の適正な処理	3	1.3%			住民参加と開かれた町政の推進	2	0.8%
環境保全対策の充実			1	0.4%	高度情報化の推進			0	0.0%	
豊かな自然 と恵まれた 環境の保全	吉野の魅力 を活かした 産業の振興	低炭素社会の実現への取り組み	0	0.0%	効率的で効 果的な行政 経営の推進	その他	財政健全化と開かれた町政の推進	5	2.1%	
		農林漁業の振興	1	0.4%			職員の人材育成	0	0.0%	
		商工業の振興	27	11.3%			広域連携の推進	0	0.0%	
		新しい産業の創出と企業誘致の推進	17	7.1%			計画の適切な進行管理	0	0.0%	
		その他	7	2.9%			その他	12	5.0%	
				合計	239 100.0%					

町民アンケートにおける自由意見(吉野町のまちに“不満に感じていること”)の結果の主な内容は以下のとおりです

政策	基本施策	施策名	主な意見
豊かな未来に いのちが輝く まちづくり	未来を担う子どもの 育成	子育て環境の整備	「子どもが遊べる公園がない」に不満を感じているという意見がありました。
		子育て支援の充実 学校教育の充実	「若い世代への負担増加」に不満を感じているという意見がありました。 「子どもの教育環境」「図書館がなし」に不満を感じているという意見がありました。
	学びあひ生きがいも てる地域社会の構築	世界遺産・歴史文化の保全と活用	「世界遺産を活用できていない」に不満を感じているという意見がありました。
		地域医療の充実	「医療体制(休日医療・施設数)」に不満を感じているという意見がありました。
豊かな自然と恵まれた 環境の保全	豊かな自然と恵まれた 環境の保全	高齢者福祉の充実	「高齢者に対するサービスが充実し過ぎている」に不満を感じているという意見がありました。
		地域福祉活動の充実	「福祉サービスが充実してない」に不満を感じているという意見がありました。
		廃棄物の適正な処理 環境保全対策の充実	「ゴミが放置」に不満を感じているという意見がありました。 「外でトイレしている人がいる」に不満を感じているという意見がありました。
	吉野の魅力を活かした 産業の振興	農林漁業の振興	「農業離れ」「若い世代に交代できていない」に不満を感じているという意見がありました。
		商工業の振興 新しい産業の創出と企業誘致の推進	「買い物不便」「地場産業がない」「シャッター街」に不満を感じているという意見がありました。 「働く場がない」に不満を感じているという意見がありました。
安全安心で快 適なまちづくり	安全安心な暮らしを支 えるまちづくり	魅力あふれる観光の振興	「吉野山など観光資源を活用できていない」「娯楽・レジャー施設がない」に不満を感じているという意見がありました。
		地域間交流と定住の促進	「若者の定住対策」「近所の人との交流が少なく」に不満を感じているという意見がありました。
	生活基盤の充実した快 適で住みよいまちづくり	交通安全・防犯対策の推進	「外灯が少ない」「夜が暗くて危ない」に不満を感じているという意見がありました。
		安全で快適な道路・河川の整備 安全で快適な上下水道の整備	「道路が悪い」「自転車道路が法改正に対応できていない」に不満を感じているという意見がありました。 「水道料金が安い」「下水処理が充分でなく川が汚い」に不満を感じているという意見がありました。
みんなでつくる 吉野町	住民参加と協働のまち づくりの推進	利便性の高い公共交通システムの構築	「交通(電車やバスなど)の便が悪い」に不満を感じているという意見がありました。
		安全で快適な居住環境の整備	「昼夜問わず大騒ぎしている人がいる」に不満を感じているという意見がありました。
		地域特性を活かした土地利用の推進	「駐車場がない」「空き家の有効活用」ができていないに不満を感じているという意見がありました。
効率的で効 果的な行政 経営の推進	住民参加と開かれた町政の推進	協働のまちづくりの推進	「まちの活力がない」に不満を感じているという意見がありました。
		財政健全化と開かれた町政の推進	「高齢者の意見で決まっている」に不満を感じているという意見がありました。
その他			「行政の動きが悪い」「税金が高い」「明確なビジョンがない」に不満を感じているという意見がありました。 「まち全体」に不満を感じているという意見がありました。

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見

町民アンケートにおける自由意見(人口減少対策やまちづくりに関することでご意見)の結果は以下のとおりです

政策	基本施策	施策名	件数	割合	政策	基本施策	施策名	件数	割合
豊かな未来に いのちが 輝く まちづくり	未来を担う 子どもの 育成	子育て環境の整備	17	8.7%	自然・環境・ 産業が 調和した 持続可能な まちづくり	地域資源を 活かした環 境・交流の促 進	魅力あふれる観光の振興	15	7.7%
		子育て支援の充実	15	7.7%			地域間交流と定住の促進	23	11.7%
		学校教育の充実	7	3.6%					
		地域ぐるみでの健全育成	0	0.0%					
	学びあひ生 きがいもて る地域社会 の構築	社会教育と生涯学習の推進	1	0.5%	安全安心で 快適な まちづくり	安全安心な 暮らしを支え るまちづくり	地域防災力の向上	1	0.5%
		社会体育と生涯スポーツの推進	0	0.0%			消防・救急体制の充実	0	0.0%
		世界遺産・歴史文化の保全と活用	4	2.0%			交通安全・防犯対策の推進	0	0.0%
		人権が尊重されるまちづくり	0	0.0%			相談業務の充実	0	0.0%
		健康づくり事業の充実	0	0.0%			安全で快適な道路・河川の整備	1	0.5%
		高齢者等の生きがい・健康づくりの推進	0	0.0%			生活基盤の 充実した快 適で住みよ いまちづくり	1	0.5%
	生き生きと暮 らせる健康 のまちづくり	地域医療の充実	5	2.6%	安全で快適な上下水道の整備	利便性の高い公共交通システムの構築	13	6.6%	
		高齢者福祉の充実	2	1.0%		安全で快適な居住環境の整備	15	7.7%	
		障害者福祉の充実	0	0.0%		地域特性を活かした土地利用の推進	6	3.1%	
	みんなで支 えあう福祉 のまちづくり	地域福祉活動の充実	1	0.5%	住民参加と 協働のまち づくりの推進	協働のまちづくりの推進	5	2.6%	
		社会保険制度の円滑な運営	0	0.0%		住民参加と開かれた町政の推進	7	3.6%	
自然環境の保全・保護		6	3.1%	高度情報化の推進		2	1.0%		
自然・環境・ 産業が調和 した持続可 能なまちづくり	豊かな自然 と恵まれた 環境の保全	廃棄物の適正な処理	3	1.5%	みんなで つくる 吉野町	効率的で効 果的な行政 経営の推進	財政健全化と開かれた町政の推進	11	5.6%
		環境保全対策の充実	1	0.5%			職員の人材育成	2	1.0%
		低炭素社会の実現への取り組み	0	0.0%			広域連携の推進	0	0.0%
		農林漁業の振興	1	0.5%			計画の適切な進行管理	0	0.0%
	吉野の魅力 を活かした 産業の振興	商工業の振興	4	2.0%	その他	その他	5	2.6%	
		新しい産業の創出と企業誘致の推進	15	7.7%		特になし	7	3.6%	
		合計					196	100.0%	

町民アンケートにおける自由意見(人口減少対策やまちづくりに関することでご意見)の結果の主な内容は以下のとおりです

政策	基本施策	施策名	主な意見
豊かな未来に いのちが 輝くまちづくり	未来を担う子 どもの 育成	子育て環境の整備	「子どもが遊び場(公園)などが少ない」などの意見がありました。
		子育て支援の充実	「子育てのための経済的支援」「子育て支援の充実」など意見がありました。
		学校教育の充実	「少子化に伴い、教育機関の統合」など意見がありました。
	学びあひ生 きがいもて る地域社会 の構築	社会教育と生涯学習の推進	「学べる場の増加」などの意見がありました。
		世界遺産・歴史文化の保全と活用	「吉野山以外の歴史的遺産の活用」などの意見がありました。
		地域医療の充実	「近くにかかりつけ医がない」「医療に携わる人への支援」などの意見がありました。
みんなで支 えあう福祉 のまちづくり	高齢者福祉の充実	「親と同居している若い人が多い」などの意見がありました。	
	地域福祉活動の充実	「住民のためにお金を使って欲しい」「新しい施設は必要ない」などの意見がありました。	
自然・環境・ 産業が調和 した持続可 能なまちづくり	豊かな自然 と恵まれた 環境の保全	自然環境の保全・保護	「都会にはない自然は吉野の魅力」「自然災害への対策が必要」などの意見がありました。
		廃棄物の適正な処理	「環境美化に対する意識が低い」「吉野川の利用者のマナーが悪い」などの意見がありました。
		環境保全対策の充実	「ゴミの野焼きや不法投棄が当たり前になっている」などの意見がありました。
	吉野の魅力 を活かした 産業の振興	農林漁業の振興	「休耕地を活用すべき」などの意見がありました。
商工業の振興		「商業施設がない」「買い物できる場所がない」などの意見がありました。	
		新しい産業の創出と企業誘致の推進	「地元で働ける場の増加」「企業の活性化」などの意見がありました。

政策	基本施策	施策名	主な意見
自然・環境・産業が調和した持続可能なまちづくり	地域資源を活かした環境・交流の促進	魅力あふれる観光の振興	「特産品の販売所をつくる」「冬の吉野のPR」「花火などのイベントの充実」などの意見がありました。
		地域間交流と定住の促進	「都会と吉野の生活を両立できる支援」「婚活イベントの実施」などの意見がありました。
安全安心で快適なまちづくり	安全安心な暮らしを支えるまちづくり	地域防災力の向上	「防災訓練回数の増加」「防災などの講習会の開催」などの意見がありました。
	生活基盤の充実した快適で住みよいまちづくり	安全で快適な道路・河川の整備	「標識の設置」などの意見がありました。
		安全で快適な上下水道の整備	「吉野川に生活排水を流さない」などの意見がありました。
		利便性の高い公共交通システムの構築	「通勤・通学に時間がかかる」「電車とバスが連絡していない」などの意見がありました。
		安全で快適な居住環境の整備	「住むところがない」「住民の現象により住環境の整備ができない」などの意見がありました。
地域特性を活かした土地利用の推進	「スポーツ施設などのインフラ整備」「緑を活用しリゾート開発」などの意見がありました。		
みんなでつくる吉野町	住民参加と協働のまちづくりの推進	協働のまちづくりの推進	「継続的なイベント実施」「吉野の魅力のPR不足」などの意見がありました。
		住民参加と開かれた市政の推進	「町外にアピールする前に町民の意識向上が必要」などの意見がありました。
		高度情報化の推進	「助成や支援に関する情報提供の充実」「在宅ワークの橋渡しする事業の実施」などの意見がありました。
	効率的で効果的な行政経営の推進	財政健全化と開かれた市政の推進	「少子化によりさまざまな団体における負担増加」「税金の使い道の検討」などの意見がありました。
		職員の人材育成	「地域と職員が歩み寄ってまちをよくしていく」などの意見がありました。
その他			「もっと住みやすいまちになって欲しい」などの意見がありました。

## 転出者アンケート調査結果

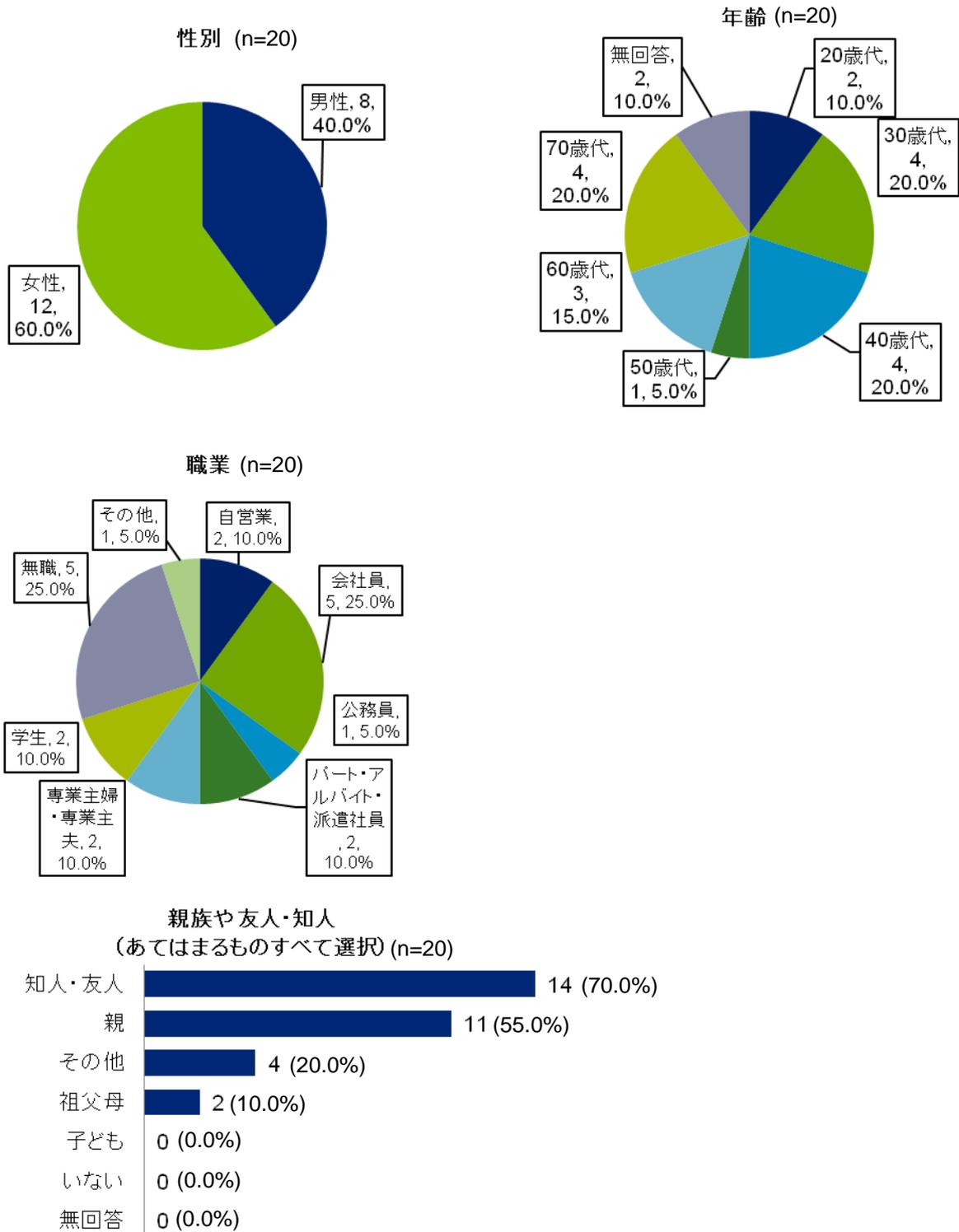
## 調査の概要

転出者アンケートの調査概要は以下のとおりです

調査地域	吉野町全域
調査対象	吉野町内から転出した100人
調査期間	平成27年6月12日(金)～7月2日(金)
調査方法	郵送による配布・回収
回収結果	回収率20.0%(20件/100件)

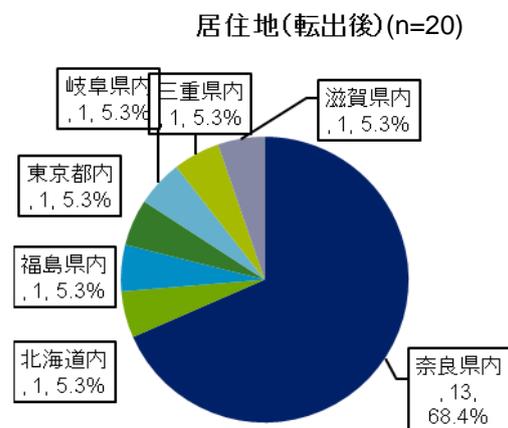
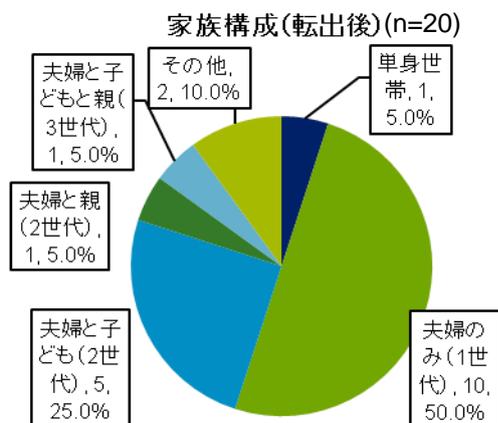
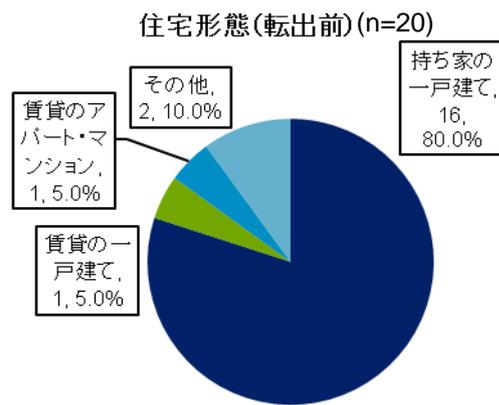
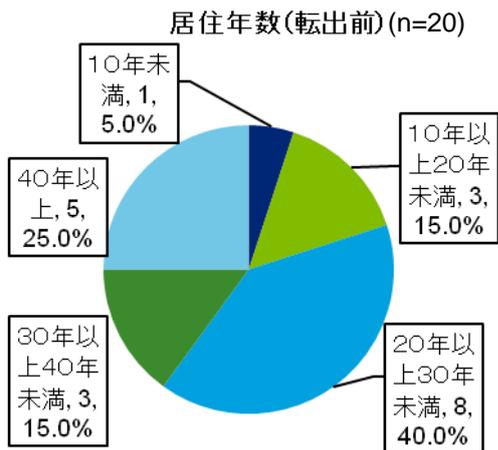
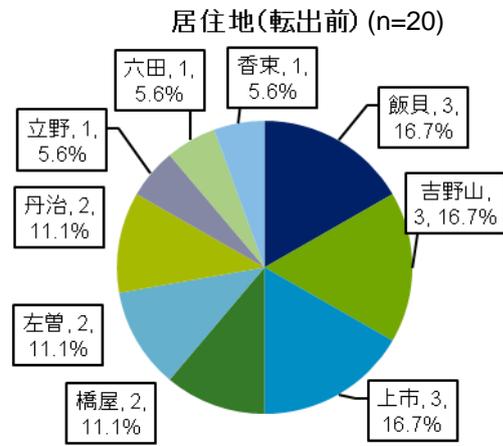
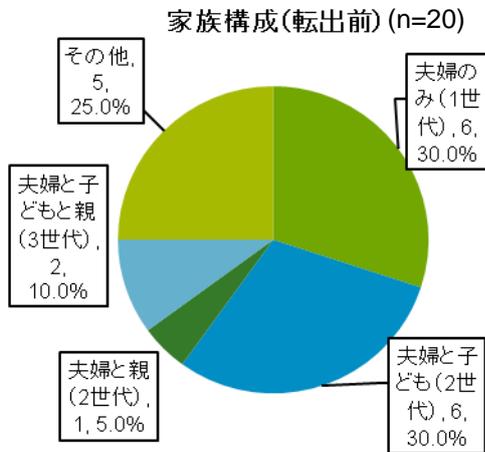
回答者の属性

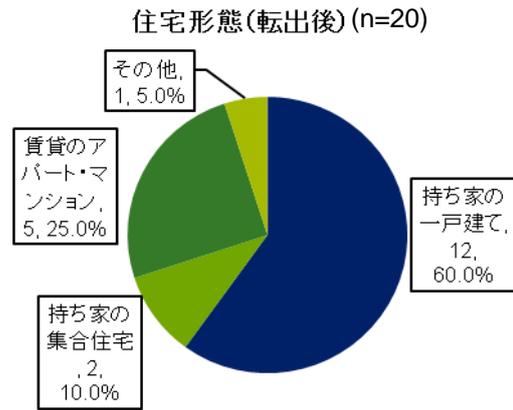
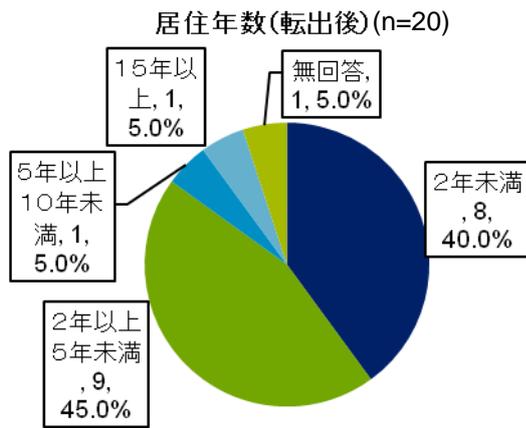
回答者の属性は以下のとおりです



転出前後の状況

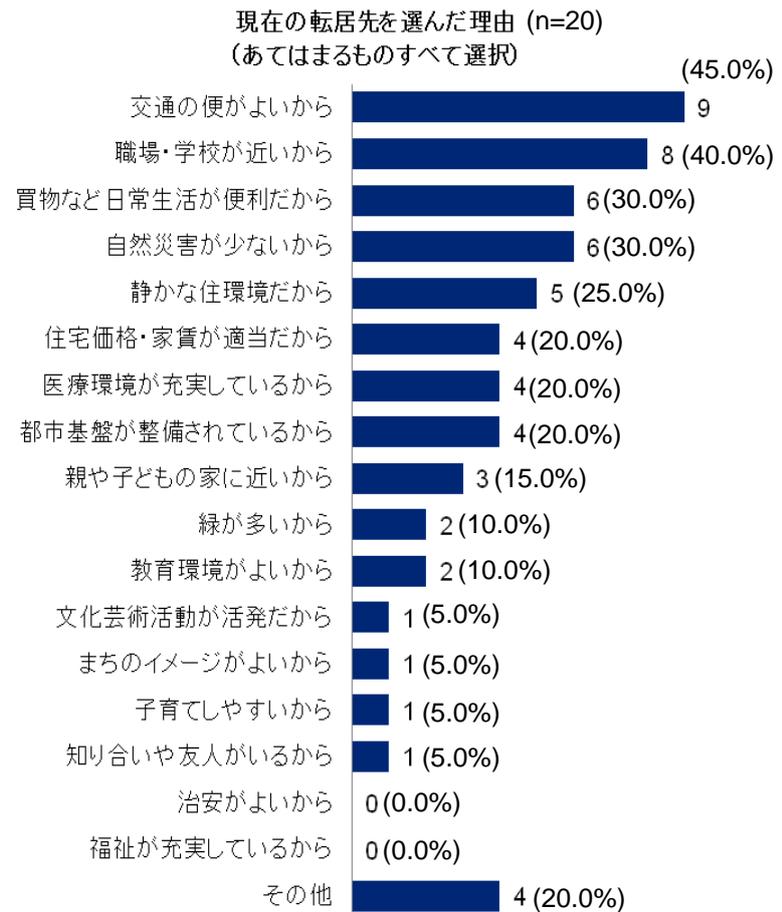
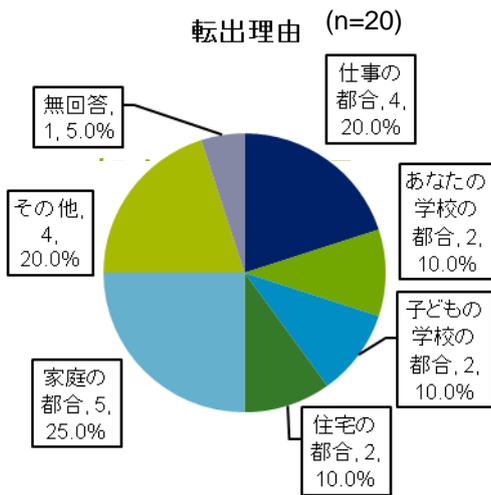
転出前後の家族構成、居住地、居住年数、住居形態は以下のとおりです



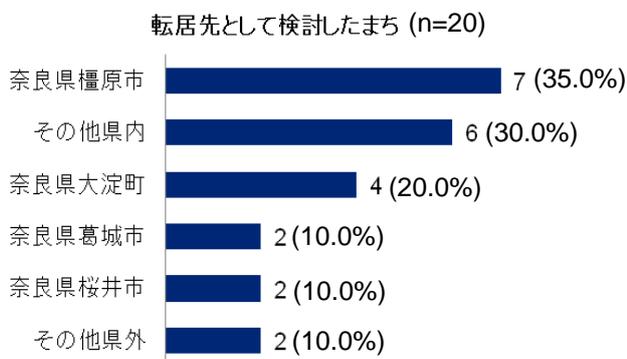


転出理由と転出先

転出理由は「家庭の都合」が多く、また現在の転居先を選んだ理由は「交通の便がよいから」「職場・学校が近いから」などが多くなっています



※「その他」の具体的な内容は「不便」「子供の嫁先の近くに」「生活環境」「高齢のため長男に同居を勧められ」です。



※「その他」の具体的な内容は「買った時は何も考えていない」「夫の転勤のため」「長男と同居のため」「結婚のため」です。

自由意見

転出者アンケートにおける自由意見の結果は以下のとおりです

No.	性別	年代	居住地			自由意見
			吉野町内に住んでいたとき	吉野町外に住んでいたとき		
			地域名	都道府県名	市町村名	
1	女性	37歳	飯貝	奈良県	橿原市	家を探し始めた頃は、吉野町の子育て支援に不安があり共働きの為充実した支援(親の手助けがなくても自分たちでどうにかする)を求めていました。転出する時は幼保一元化の取り組み(延長保育、長期休暇も)充実していて良かったのですが、すでに家を建て始めていました。様々なことを考えると交通の便の良し(所(吉野町では駅まで遠い)でもどうしても送り迎えが必要)が子供の将来の為になると思い、転出しました。3世代同居の家庭だと自然豊かで教育も充実している吉野町で子育て出来れば素晴らしいと思いますが(私自身もその環境で育ったので)2世代共働きで育てるには不安があるかと思えます。実際に吉野町に住んでいる方に今こうして欲しい、こういうことを望んでいると気軽にいつでも伝えられる状況を作っていただけたらと思います。新しい人を入れるのは難しいと思いますが、仕事のできる場所、環境、子供を産み育てられる環境(産院まで必ず車が必要→行政でバックアップしてもらえなど)を整えてくださると有難いと思えます。
2	女性	77歳	丹治	奈良県	無回答	年を重ねると静かな住環境よりも1)買物など日常生活が便利である事 2)医療が充実している事(近くにお医者さんがいて下さる事)(総合的に親切に話を聞いてくださる人)3)郵便局か銀行がある事 4)交通が便利(電車、バスがなくても)気軽に近くに行ける。小型(軽)の車が常時あってくれれば良い(今は自分で運転出来ます) 若い人がその土地で生活できる(町外に流出せず)地域の産業が何かないのでしょうか。
3	女性	43歳	上市	奈良県	大淀町	新たに住宅を建てる場所がない。空家があってもすぐに入居できる状態でない。
4	男性	66歳	左曾	奈良県	橿原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉野高校が廃校になれば、その校舎も含めて空いている大きな建物を利用して、近隣の老人を集め、住まわせれば人口は減らなれ。</li> <li>・自衛隊基地の誘致により活性化を図る。</li> <li>・数十年前税金を払い続けてきたが、その間役場職員は何をしてきたのか。40年前と何も変わっていない。</li> <li>・もう一度市町村合併を考えるべきではないか。</li> <li>・吉野山への観光客の増をもっと考えるべきでは！→(リピーター客も来る様に接客すべきでは！)</li> <li>・町財政の収支結果は一覧にはわかりにくいので、複式簿記を導入して、バランスシートを作成すべきだ。</li> <li>・町議員はさておき、自治会長、区長会をもっと活性化して議会に変われるぐらいの体制にすべきであろう。議会議員は活動実体が不明であるが、自治会長は地元の活動に責任があるので、もっとしっかりやるだろう。</li> </ul>

No.	性別	年代	居住地			自由意見
			吉野町内に住んでいたとき	吉野町外に住んでいたとき		
			地域名	都道府県名	市町村名	
5	女性	75歳	丹治	奈良県	大淀町越部	25年ほど前に買って6年ほど前から住みました。団地に住んでいましたが、やはり家賃などこたえて来ました。住み心地は大変な坂道がありますが、買物も便利だし静かで隣組の皆も良い人達で喜んでおります。吉野町では長い間住んでとっても良かったんですが、やはり自分の家がなかったのが残念でした。大淀町も吉野町もあまり変わりませんが、今思えば20年30年前から大淀町は山など切り開き住宅を建ち南大和、北の台、吉野平、とても立派な住宅が多いです。今の大淀の気持は何年か前からの(人口を増やした)積重ねだと思えます。この時代は私の親戚や知人は子育ての為に橿原まで出て子供を立派に育てた人が沢山おりました。
6	女性	47歳	上市	奈良県	大和高田市	長年町営住宅にお世話になっていた者です。申し訳ないですが、住環境はひどい物でした(湿気、とにかく日当たり悪い)。若い世帯をと思われるのなら、それなりの住まいを提供していかないと無理だと思います。お陰様で今では家族皆健康をとり戻し、元気にさせて頂いております。こちらの方でも若い子の中には吉野に住みたいと思っている子もいるようです。そんな方々の期待を裏切らず永住してもらえよう環境・設備を願っております。私たちが引越すことはなかったかもしれないと思えます。道もずい分整ってきていますもんね。がんばって下さい。
7	男性	75歳	橋屋	奈良県	葛城市	今でも全国に名の知れた吉野町には未練が残っています。
8	女性	43歳	吉野山	兵庫県	明石市	結婚のため吉野を離れることになりましたが、自然や歴史など吉野は本当に素晴らしい所です。吉野がふる里であることは私の誇りです。住民ではなくなりましたが、ずっと応援しています。

## 移住希望者アンケート調査結果

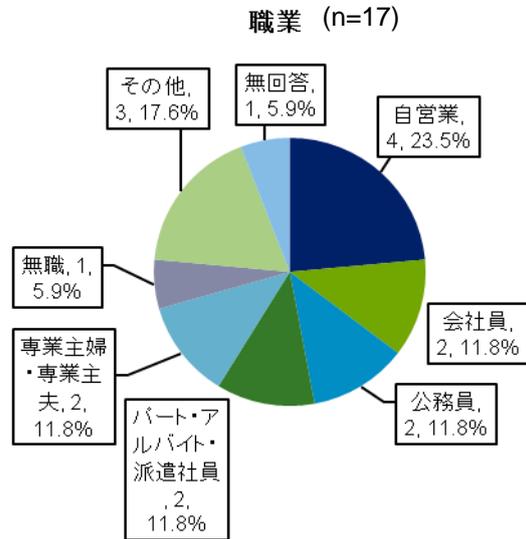
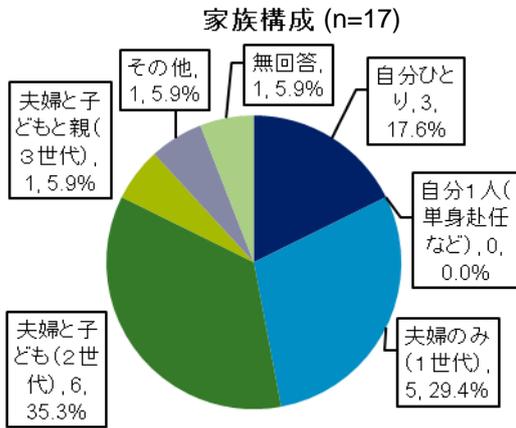
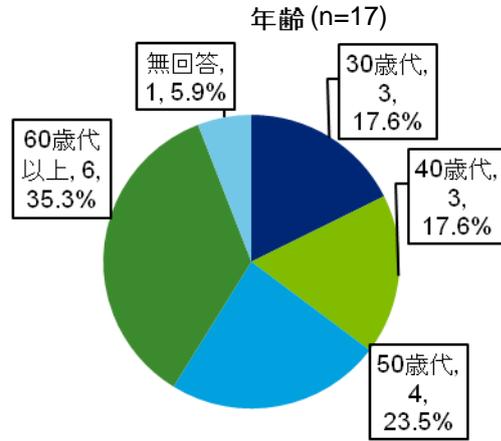
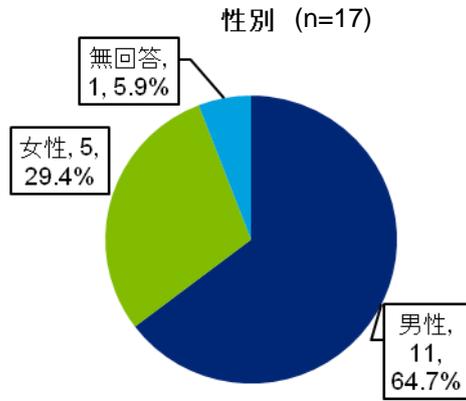
## 調査の概要

移住希望者アンケートの調査概要は以下のとおりです

調査地域	吉野町全域
調査対象	空き家バンク登録者(88件)
調査期間	平成27年6月12日(金)～7月2日(金)
調査方法	郵送による配布・回収
回収結果	回収率19.3%(17件/88件)

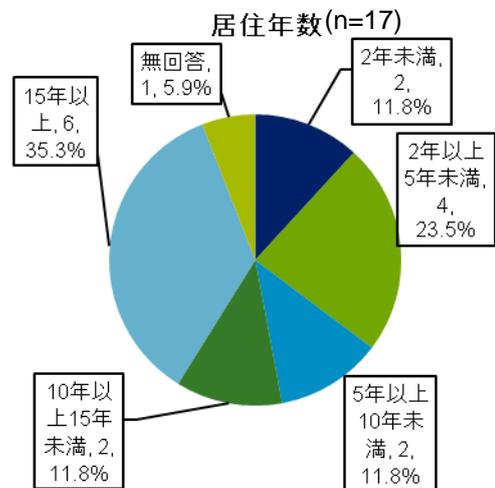
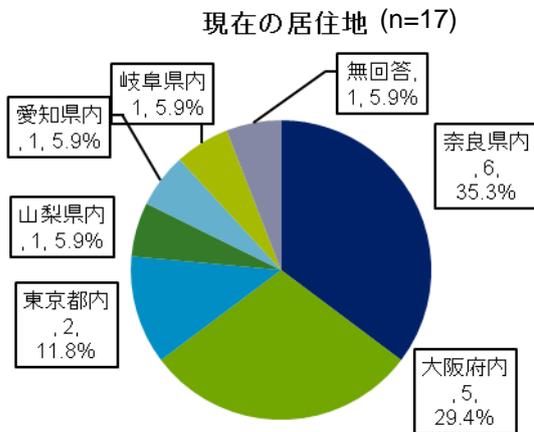
回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりです



※「その他」の具体的な内容は「大学名誉教授」

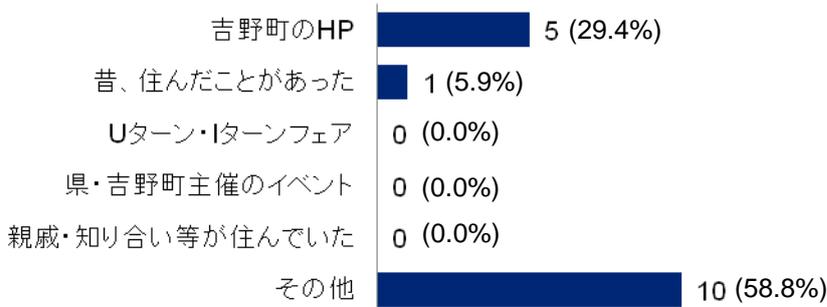
「団体役員」「時々、塾講師」です。



吉野町を知ったきっかけ／吉野町を訪れた回数／転入希望理由／居住地に求める大切な条件

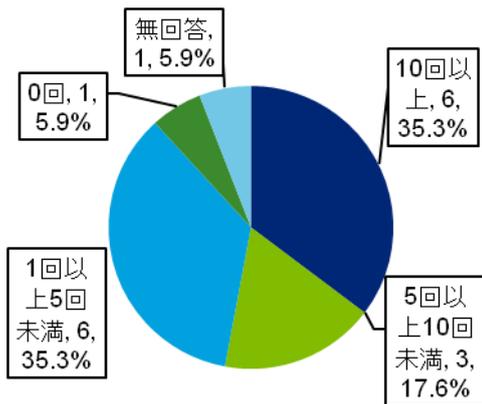
吉野町に転入を希望している理由は「自然環境が豊かである」が多く、居住地に求める大切な条件は「自然環境が豊かである」が多くなっています

吉野町を知ったきっかけ (n=17)

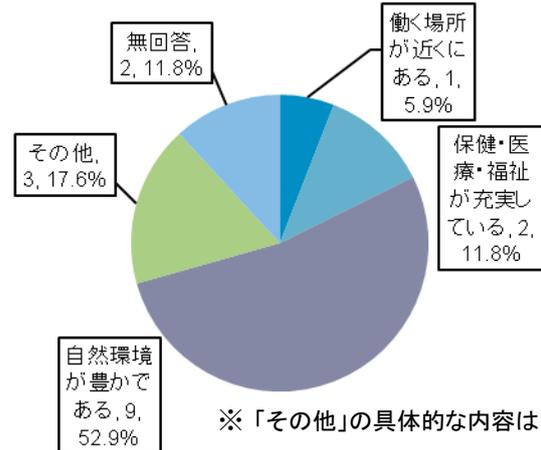


※「その他」の具体的な内容は「桜見物等でよく行ったから・桜の名所と聞いた」「古民家について調べた」「何度か遊びに行った事があって」「奈良県郡山に住んだことがあったので」「知人の紹介」「空家ネットから」「自然が多い」などです。

観光等で吉野町を訪れた回数 (n=17)

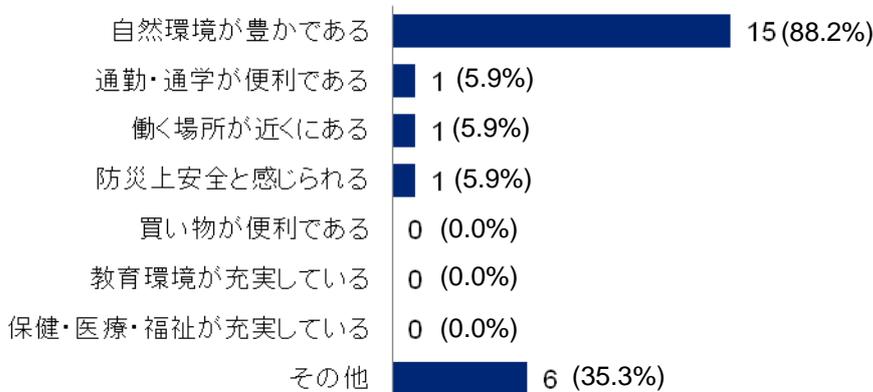


居住地に求める大切な条件 (n=17)



※「その他」の具体的な内容は「働く場所を創造する」「地域との関わり、受け入れ体制」「安全性(地震・放射能)」です。

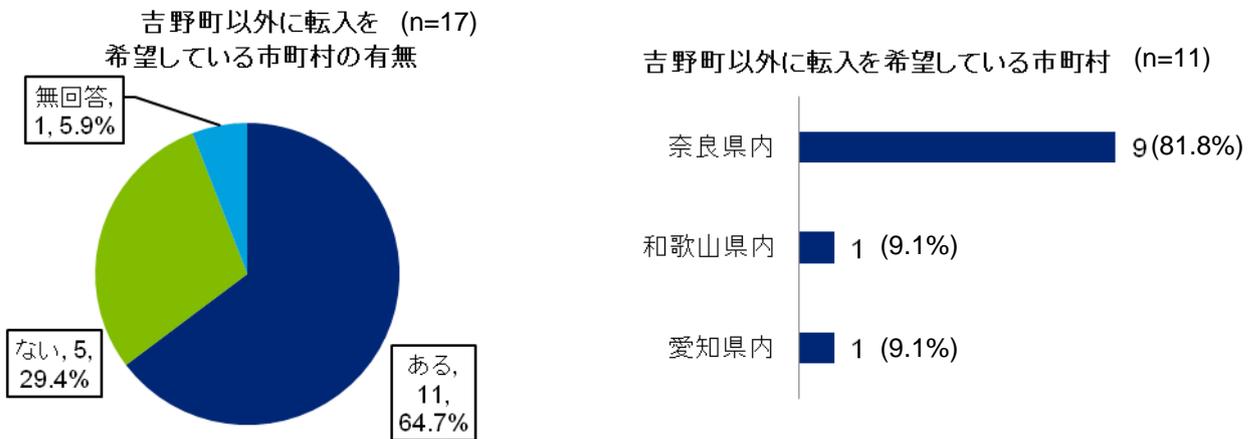
転入を希望している理由 (あてはまるものすべて選択) (n=17)



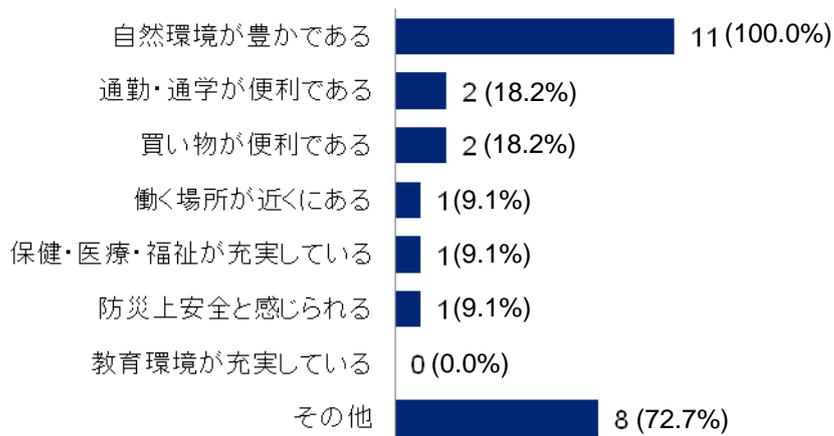
※「その他」の具体的な内容は「働く場を創造する」「田畑を借りられる」「購入(又は賃貸)費用が低め」「移住者を積極的に募集・受け入れている所」「現在の居所から比較的近い」「奈良県に惹かれる」「古代からの文化に関心を持つから」などです。

吉野町以外の転入希望の有無／吉野町以外に転入希望している市町村／吉野町以外の市町村を希望している理由

吉野町以外に転入を希望している人が多いですが、そのほとんどが奈良県内への転入を希望しています



吉野町以外の市町村を希望している理由 (n=11)



※「その他」の具体的な内容は「働く場所を創造する」「補助金がある」「兄弟や友人たちの真ん中あたりにあるから」「畑、移住にかかりそうな費用、行政側の受け入れ姿勢、現住所から近く物件を探しやすい」「奈良県に惹かれる」「移住者受け入れ施策の有無」「学びの場に近く通いやすい」「移住受入の支援体制が充実」です。

## 自由意見

## 移住希望者アンケートにおける自由意見の結果は以下のとおりです

No.	性別	年代	居住地		自由意見
			都道府県名	市町村名	
1	男性	70歳代	奈良県	桜井市	息子一家(私共にとっては孫の子育てが自然の中で豊かにと願って検討したりしましたが、どうも息子の働く場所が中々見つかりそうもなく、只今思案中です)の移住を願っております。
2	男性	50歳代	奈良県	橿原市	吉野病院2Fのサービスが悪い(患者、及び家族に対して)。私立の病院のスタッフであれば、すぐ解雇である。町職員というだけで、誠に出来が悪すぎて悲しくなってくる。
3	男性	70歳代	奈良県	奈良市	以前ご相談によりました青少年の家の跡地の売却(再度入札を行うということで、その時は連絡して頂けるのとことでしたが・・・)の話はどうになりましたでしょうか。農地付古民家がありましたらメール等でご紹介いただけたら幸いです。
4	男性	60歳代	東京都	稲城市	(吉野町役場職員へ)その節はありがとうございました。
5	男性	50歳代	大阪府	守口市	町づくりは体系的な取り組みが必要だと思いますので、官民一体となって進めて行っていただきたいです。
6	男性	60歳代	山梨県	北杜市	現役時(郡山・シャープKK研究所)に奈良県在住で引退後こちらの高原別荘地移住して8年です。そろそろ吉野近辺に永住地を求めたく、探しております。
7	無回答	無回答	無回答	無回答	現在奈良県宇陀市に住んでいます。空き家バンク利用登録者の登録を抹消して下さい。
8	女性	50歳代	岐阜県	恵那市	吉野町はとても美しく良い町なので、これからも移住希望者はどんどん増えると思います。ただ、いくら住みたいと願っても、かしてくれる・売ってくれる物件がなければ入れません。また、子育て世代には大金はありません。家主さんが、「町のために低めの価格で家を手放す」覚悟を持つことが、町の活性化に必要なと思います。問題は移住者側ではなく、家の持主にあるのです。加えて入る人は選んだ方がいいと思います。「お試し住居」みたいなものを作り、1~2年位暮らして頂き、お互い(移住者側と受け入れる町の人々)がお互いを気に入ったら家を買って移住というようなのが理想的かもしれません。荒れて補修の必要な家の修繕に、町の人々が手を貸してくれる取り組みも移住希望者にはありがたいものです。恵那市串原町の「リフォーム塾」のようなものが、吉野町にもあったら良いなと思います。
9	男性	40歳代	愛知県	北名古屋	ペット可の物件が増えてほしいです。
10	女性	30歳代	東京都	調布市	市町村は居住者を受け入れないと考えていてはいても、住人の意識が危機感を感じていないように思う。役場の方の積極性も感じないと、空家がいっぱいあるにも関わらず、出てくる物件が少なすぎる。それでは、居住したくても家の状態と売却ばかりでは諦めてしまう。
11	男性	40歳代	大阪府	大阪市	吉野町の行政からは残念ながら、移住転入促進に対して本気を感じない。他の行政地域と比べると不十分な点が多々ある。今後の一層の努力励行を期待する。
12	女性	40歳代	奈良県	無回答	自然がいちばん。日本をすくえる町にSTART!

## 高校生アンケート調査結果

## 調査の概要

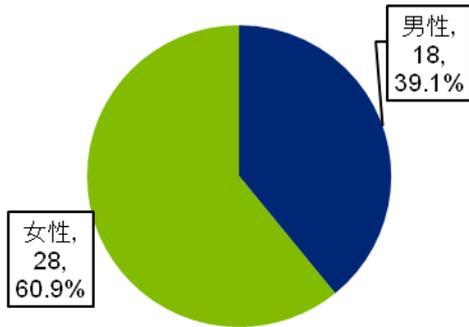
高校生アンケートの調査概要は以下のとおりです

調査地域	吉野町全域
調査対象	吉野町内在住の満16歳～18歳までの100人
調査期間	平成27年6月12日(金)～7月2日(金)
調査方法	郵送による配布・回収
回収結果	回収率46.0%(46件/100件)

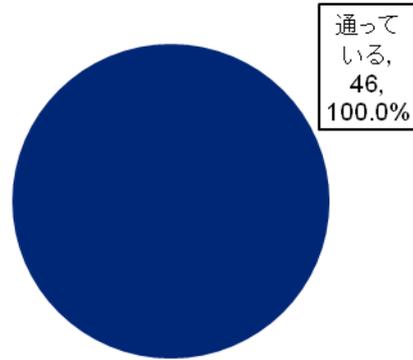
回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりです

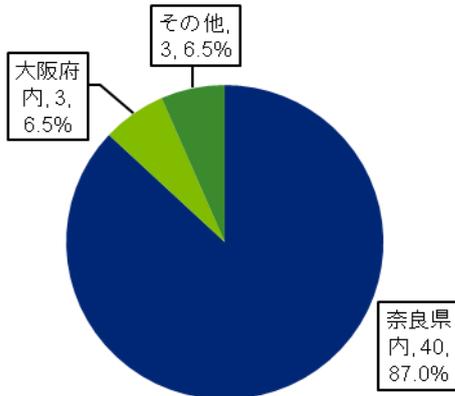
性別 (n=46)



高校・専門学校 (n=46)

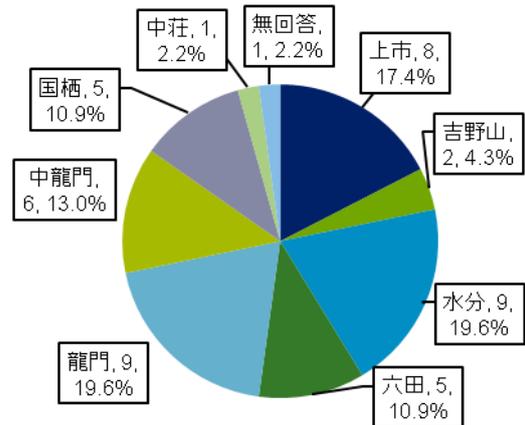


学校の所在地 (n=46)

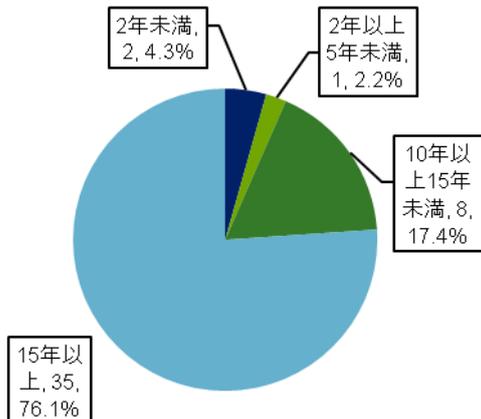


※「その他」の具体的な内容は「御所市」です。

居住地 (n=46)



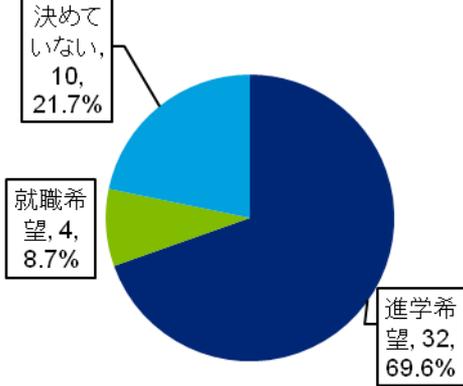
居住年数 (n=46)



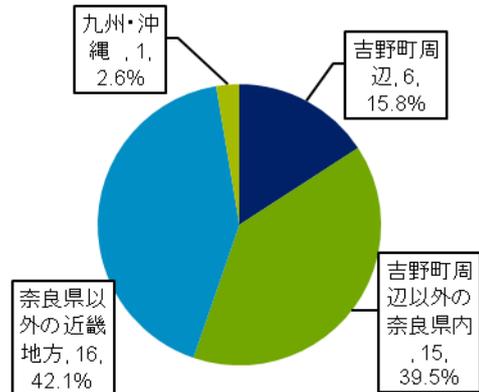
高校卒業後の進路／就職する場合の勤務地など

高校卒業後の進路は「進学希望」が多く、また将来就職する場合の勤務地は「奈良県以外の近畿地方」が多くなっています

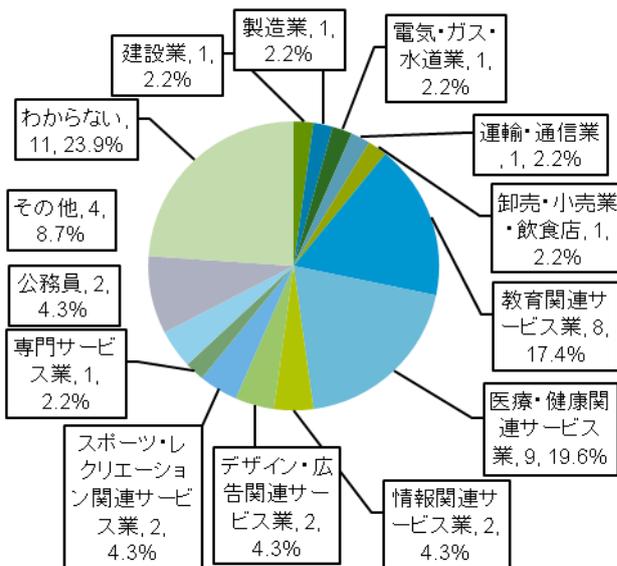
高校卒業後の進路 (n=46)



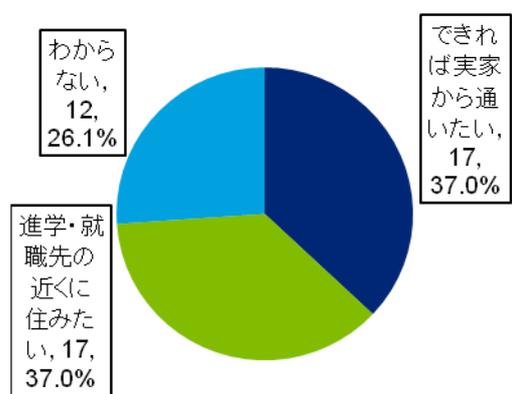
将来就職する場合の勤務地 (n=46)



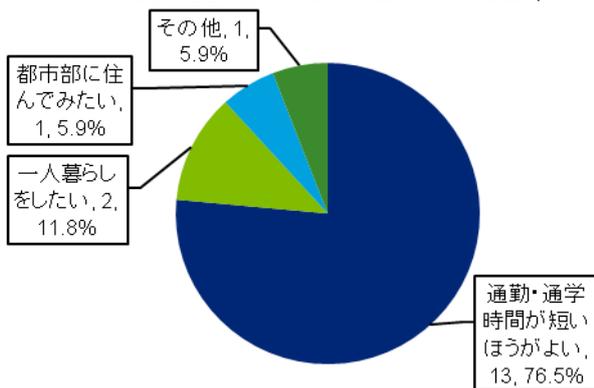
業種 (n=46)



卒業後も吉野町から通学・通勤 (n=46)

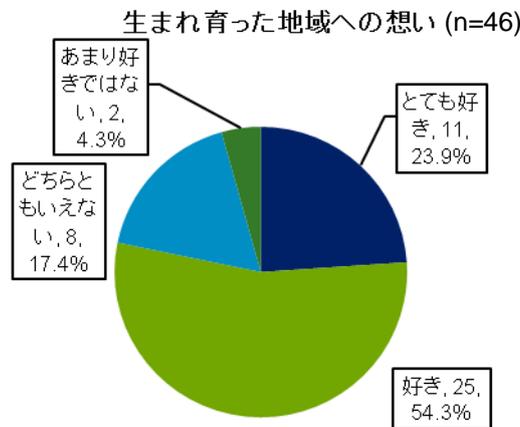


進学・就職先の近くに住みたい理由 (n=17)

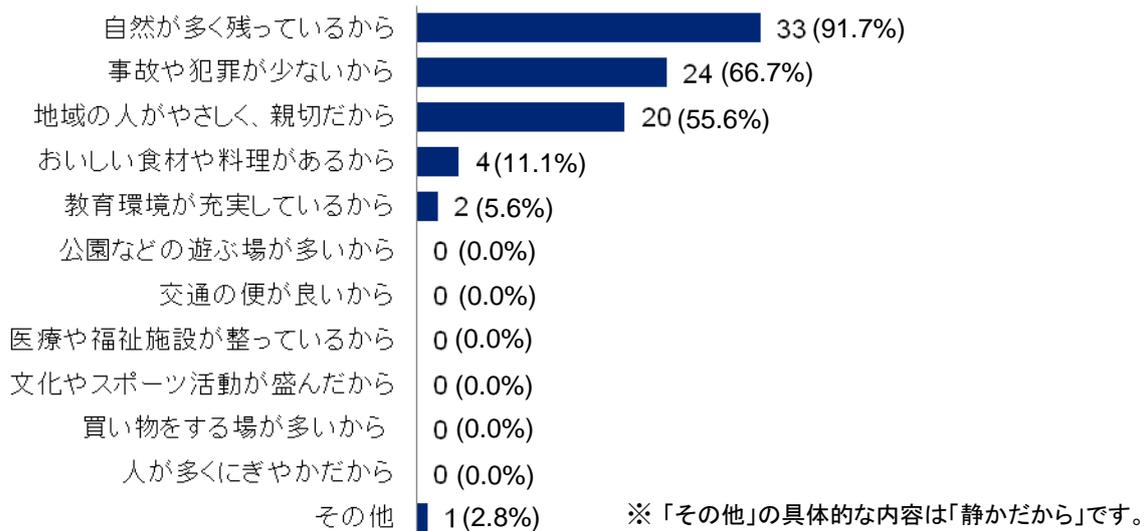


生まれ育った地域への想いとその理由

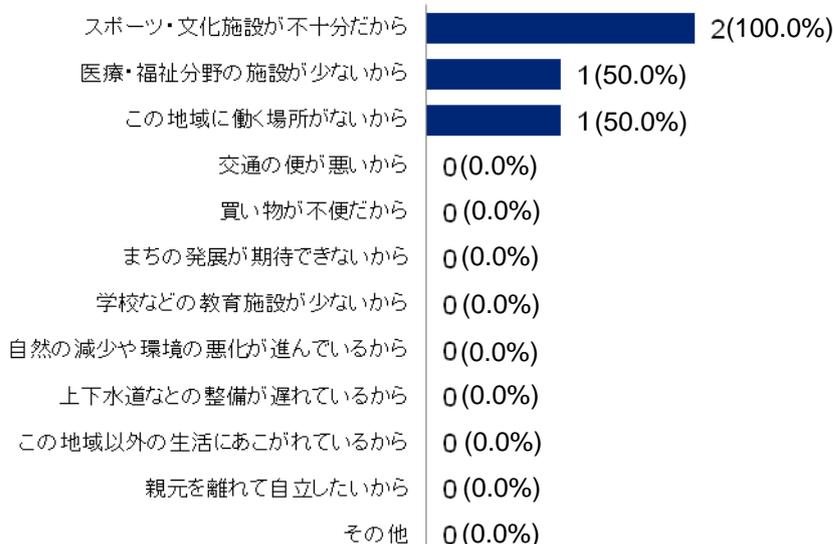
生まれ育った地域への想いは、好き(「とても好き」「好き」)が多く、その理由は「自然が多く残っている」「事故や犯罪が少ないから」などが多くなっています



好きと感じる理由(3つまで選択可) (n=36)

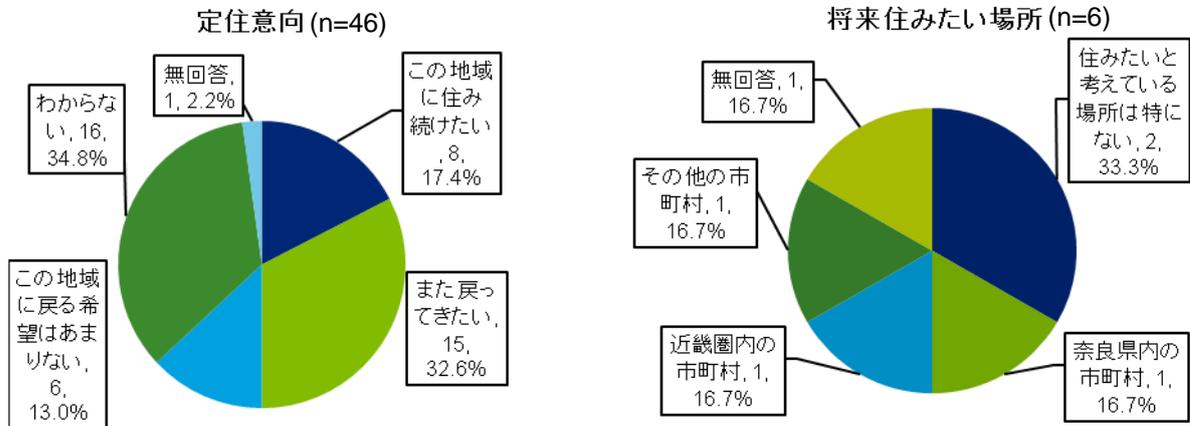


好きではないと感じる理由(3つまで選択可)

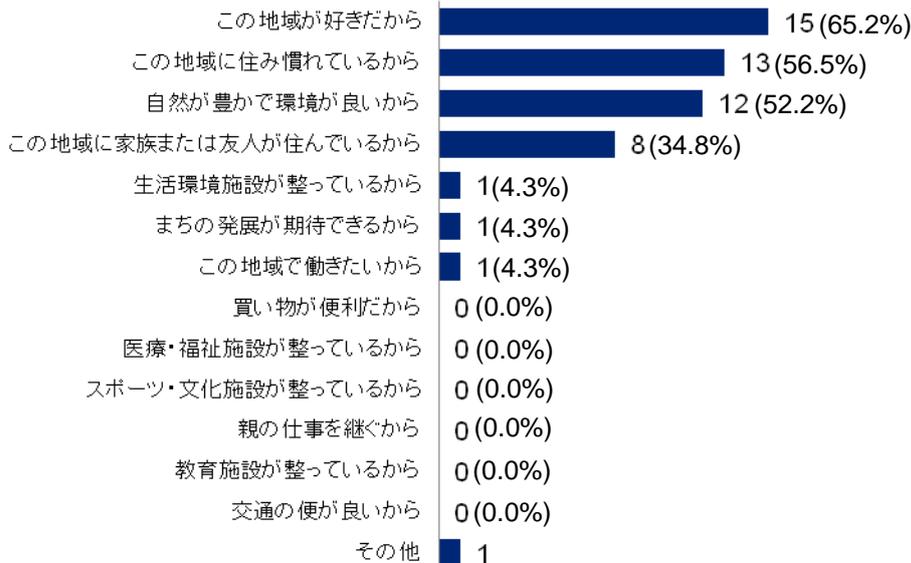


定住意向とその理由／将来住みたい場所

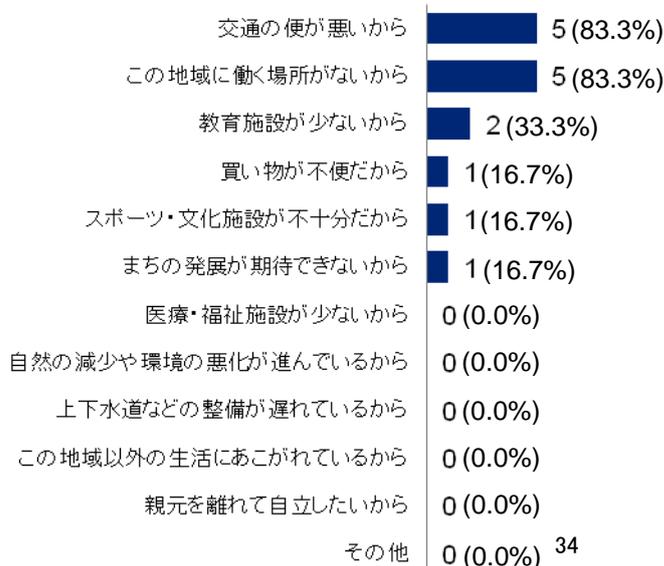
住みたい(「この地域に住み続けたい」「また戻ってきたい」)が多く、その理由は「この地域が好きだから」「この地域に住み慣れているから」などが多くなっています



生まれ育った地域に住みたい理由(3つまで選択可) (n=23)

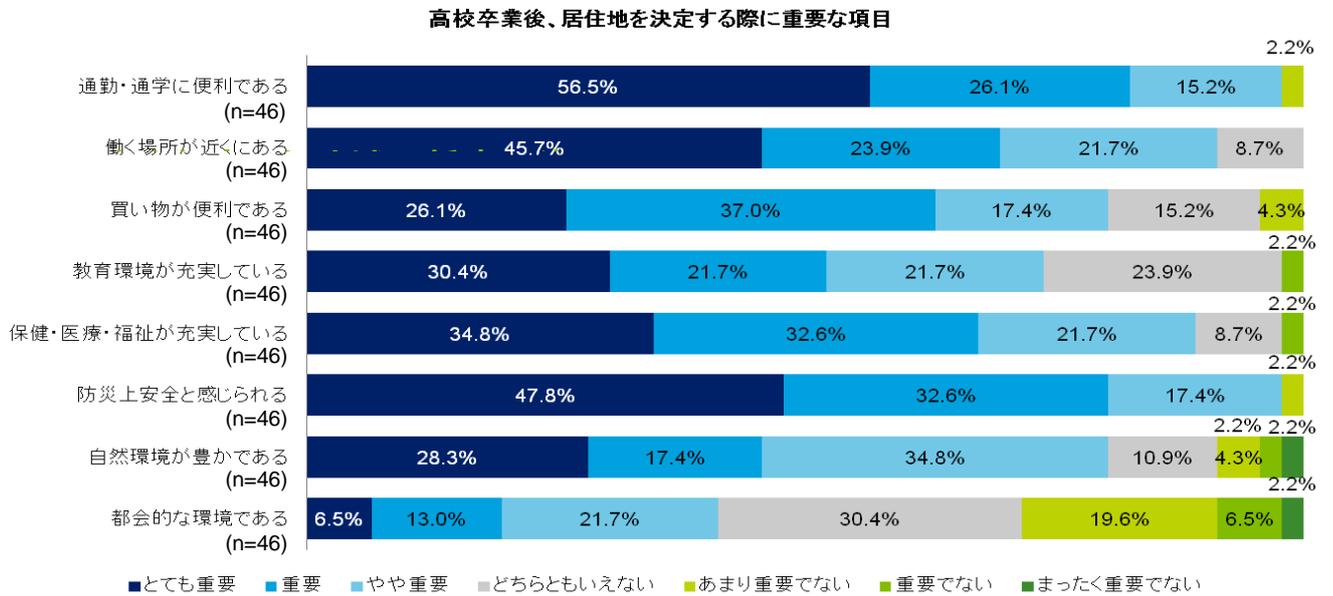


生まれ育った地域に戻る希望がない理由(3つまで選択可) (n=6)



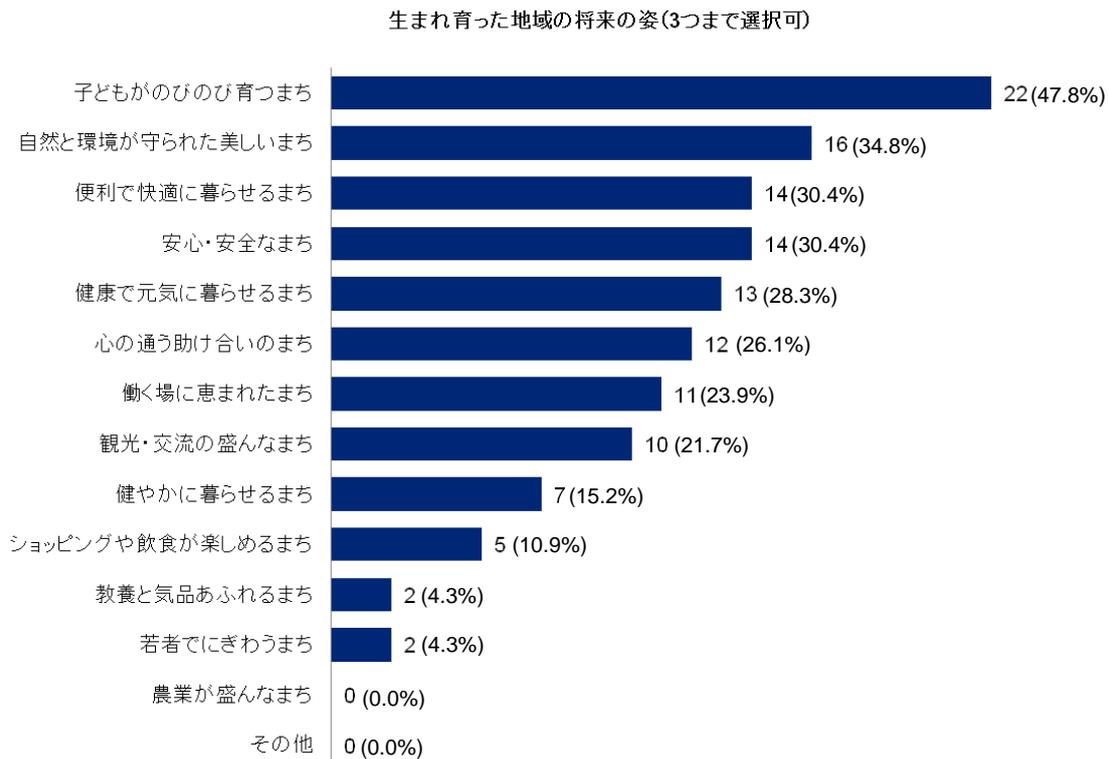
### 高校卒業後、居住地を決定する際に重要な項目

高校卒業後、居住地を決定する際に重要な項目は「防災上安全と感じられる」「働く場所が近くにある」「通勤・通学に便利である」などが重要と考えられています



### 生まれ育った地域の将来の姿

生まれ育った地域が将来「子どもがのびのび育つまち」や「自然と環境が守られた美しいまち」になることを望んでいます



## 自由意見

高校生アンケートにおける自由意見の結果は以下のとおりです

No.	性別	居住地	自由意見
1	女性	六田(六田・左曾・橋屋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りが安心して暮らせる所にしてほしい。</li> <li>・山や吉野川などの自然を大人も子どもも進んで守ってほしい。</li> <li>・野生の動物も山とかで安心して暮らしてほしい。</li> <li>・若者のために、吉野もお見合い活動などしてほしい。</li> </ul>
2	女性	中竜門	特にないです。
3	男性	中荘	工業・農業を伸ばす。工業(例)針ICに近い場所に集積回路の工場を誘致する。(良)地価が安いのを売りにして(悪)最低でも三茶屋→針 35min)、農業 空き地・荒地を利用、市場は近場。若手農業化を呼ぶ ⇒大規模は住宅支援、インフラ整備⇒人口安定

中学生アンケート調査結果

実施概要

■調査の実施時期

平成 27 年 2 月

■調査対象者

吉野町立吉野中学校の全生徒を対象としました。

■調査票の配布・回収方法

担任の先生による配布・回収

■配布・回収結果

1年生46名 2年生40名 3年生52名 無回答4名 計142名 配布146名

回収率 97.26%

■留意点

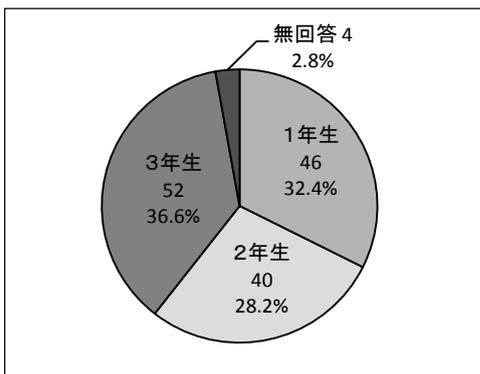
- ・回収結果は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が 100%にならない場合があります。
- ・自由意見については、記載内容に応じて分野別に整理しました。

I あなた自身のことについておたずねします。

問 1 学年

問 1 あなたの学年

1. 1年生      2. 2年生      3. 3年生



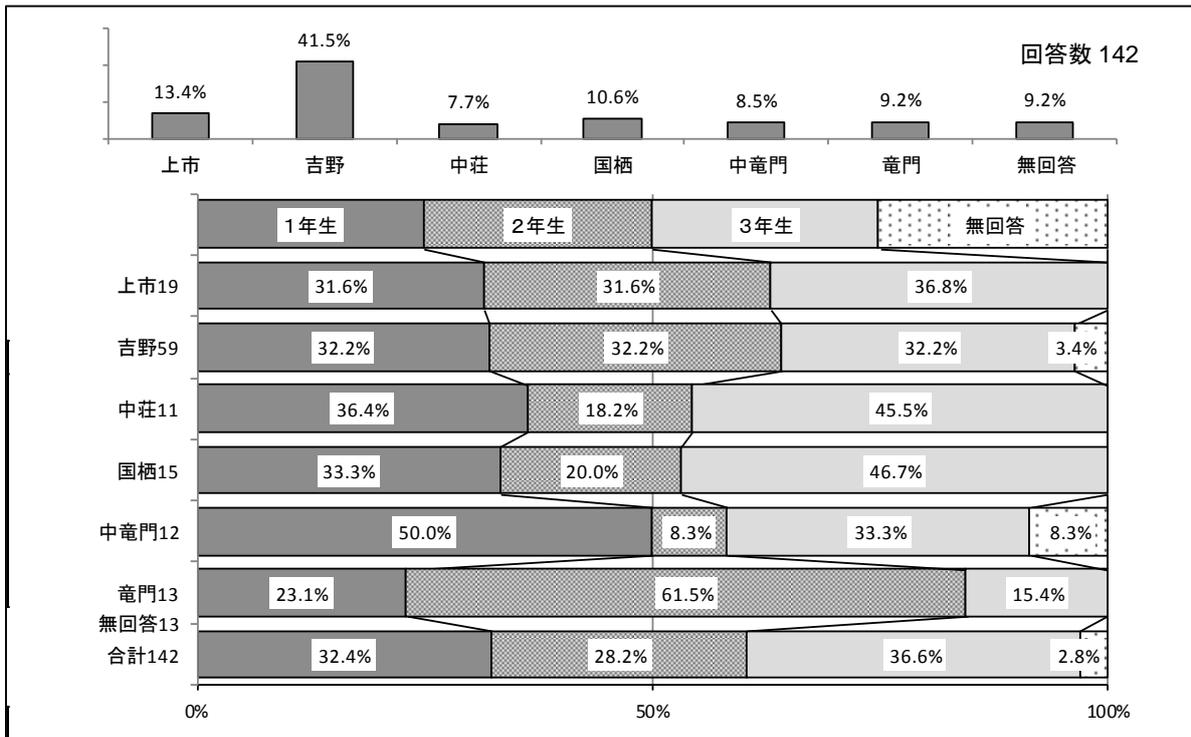
合計では 3 年生の割合が最も高く、2 年生の割合が最も低くなっています。前回調査(平成 22 年 7 月実施)でも 3 年生の割合が 37.2%と最も高くなっていました。

問2 居住地

問2 あなたのお住まいの地域

1.上市 2.吉野 3.中荘 4.国栖 5.中竜門 6.竜門

居住地別では、吉野が圧倒的に多く、40%を超えています。

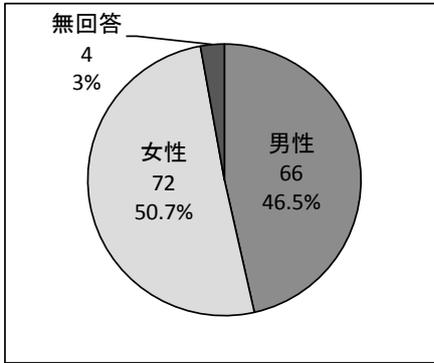


【グラフの見方】

- ・一番上の行が回答の選択肢です。二番目以降の行で、一番上の行と同じ模様(色)がついているところが、その回答の割合を示しています。
- ・二番目の行を例にとると、「上市地区が19人回答して、その内、1年生が31.6%、2年生が31.6%、3年生が36.8%、無回答は0.0%」という意味です。
- ・合計142人は、地域を無回答とした13人を含む回答数です。

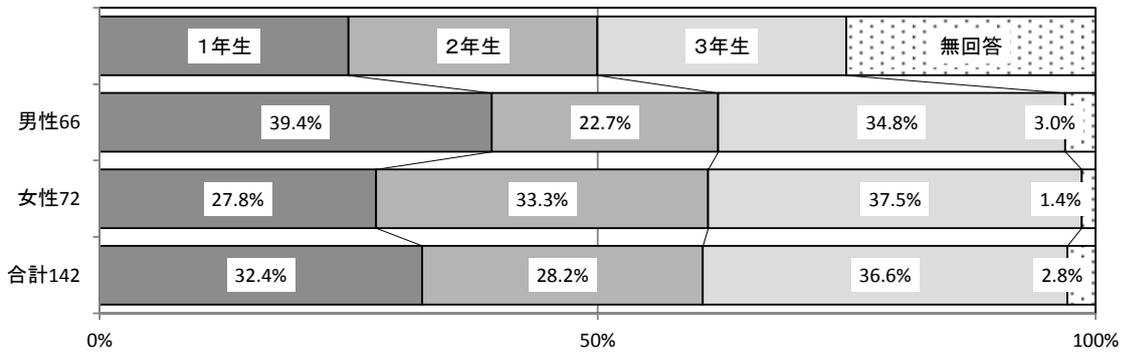
問3 性別

**問3 あなたの性別**  
 1.男性                      2.女性

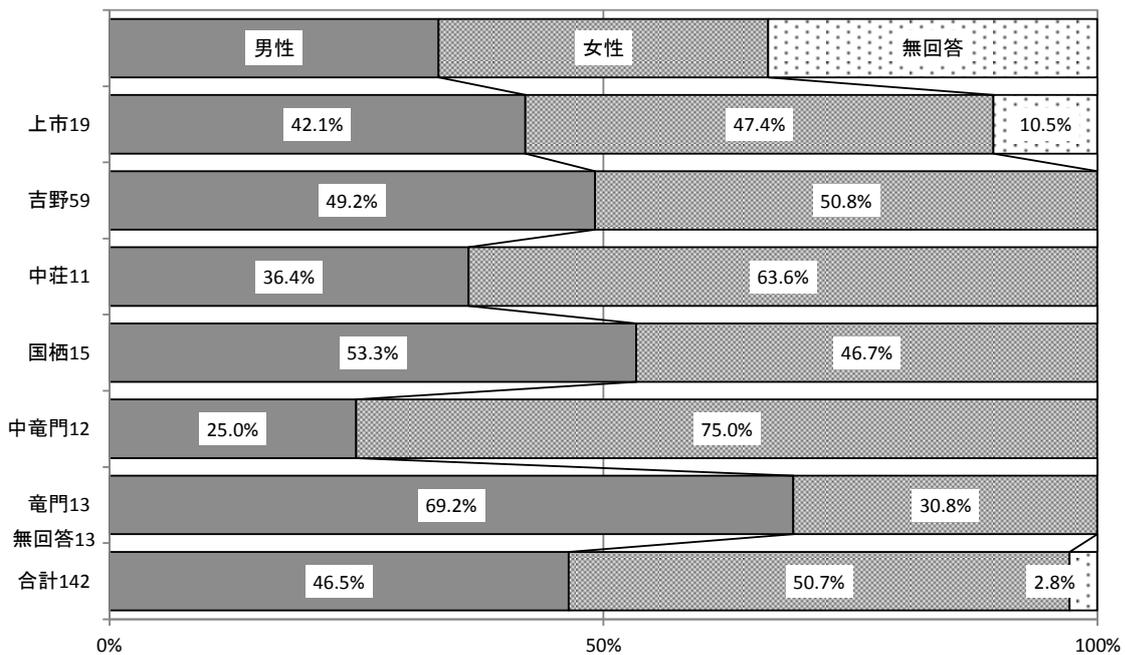


合計では、男性が46.5%、女性が50.7%となっています。前回調査では、男性55.1%、女性44.2%と男性の割合が高くなっていました。

各学年の男女別では、1年生は男性の割合が高く、2年生は男性の割合が低くなっています。



居住地別では、国栖と竜門で男性の割合が女性の割合よりも高くなっています。



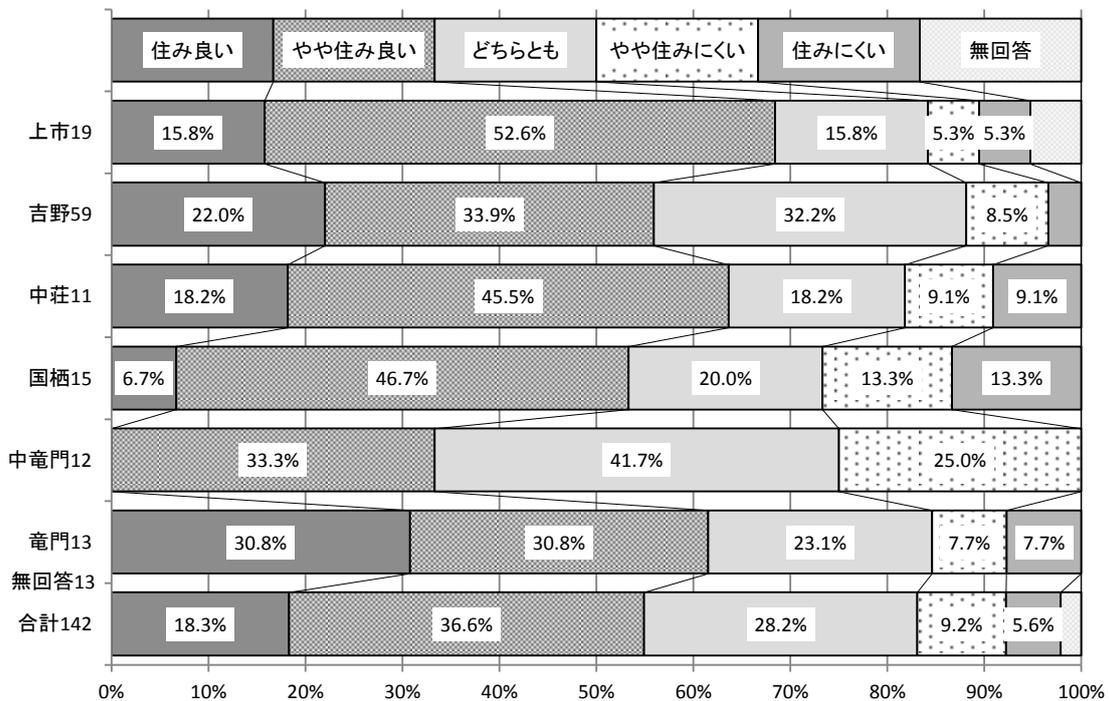
II 吉野町の住み心地や将来像についておたずねします。

問4 吉野町を住み良いところだと思うか

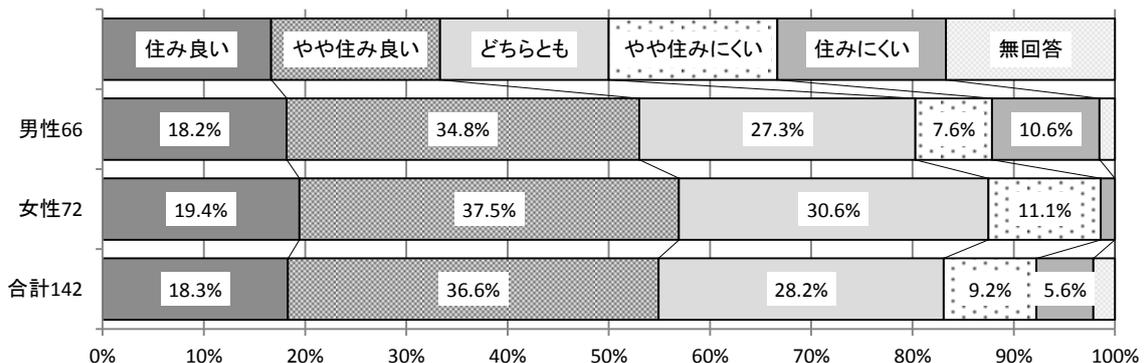
問4 あなたは吉野町を住み良いところだと思いますか。

1. 住み良い
2. どちらかと言えば住み良い
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば住みにくい
5. 住みにくい

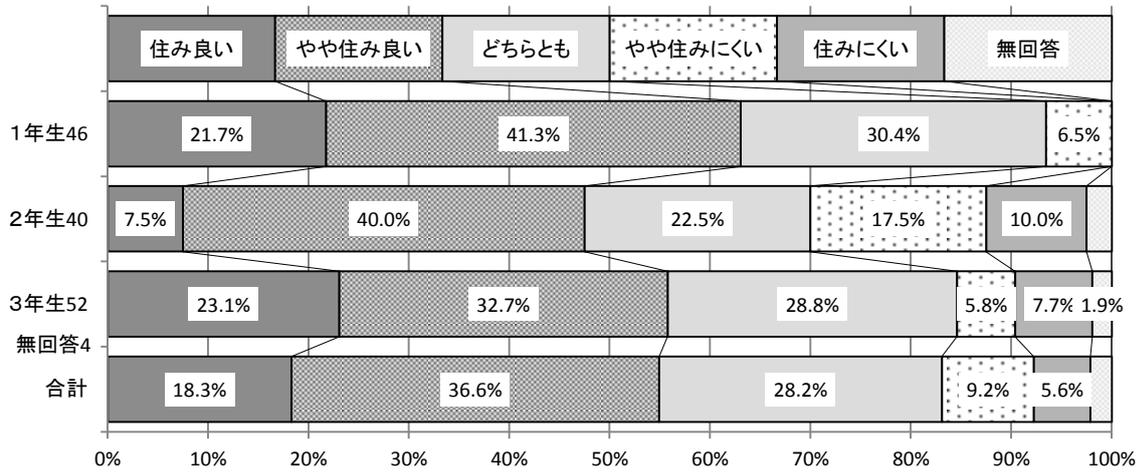
合計では「住み良い」と「やや住み良い」が合わせて54.9%に対して、「住みにくい」、「やや住みにくい」は合わせて14.8%と「住み良い」とする回答が多くなっています。前回の調査結果でもほぼ同様の結果となっていました。なお、居住地別でみると、「住み良い」は竜門や吉野で多くなっています。



男女別で見ると、「住み良い」「やや住みよい」と回答した人の割合はやや女性が高くなっています。前回の調査結果では、男性のほうが「住み良い」「やや住み良い」と回答した人の割合は高くなっていました。なお、男性、女性ともに「どちらでもない」と感じている人の割合が上昇しています。



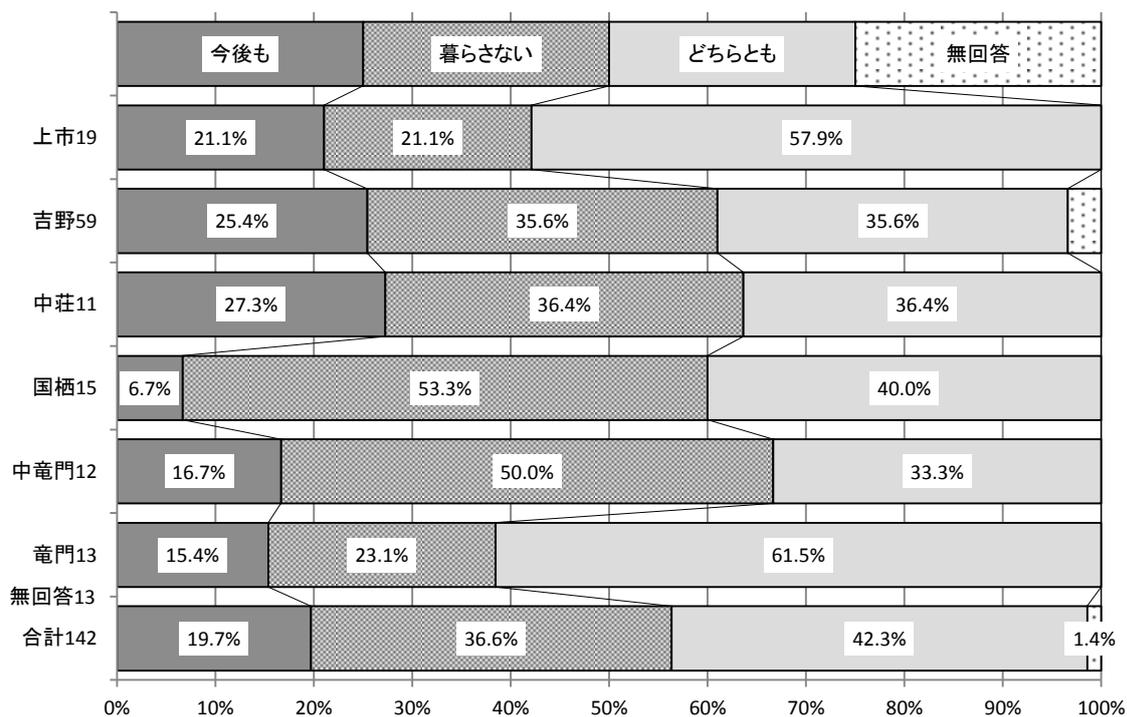
学年別でみると、「住み良い」「やや住み良い」と回答した割合は1年生が最も高くなっています。前回の調査結果でも1年生が最も高くなっていました。なお、どの学年においても、「住み良い」「やや住み良い」と感じている回答が、「住みにくい」「やや住みにくい」と感じている回答を上回っています。



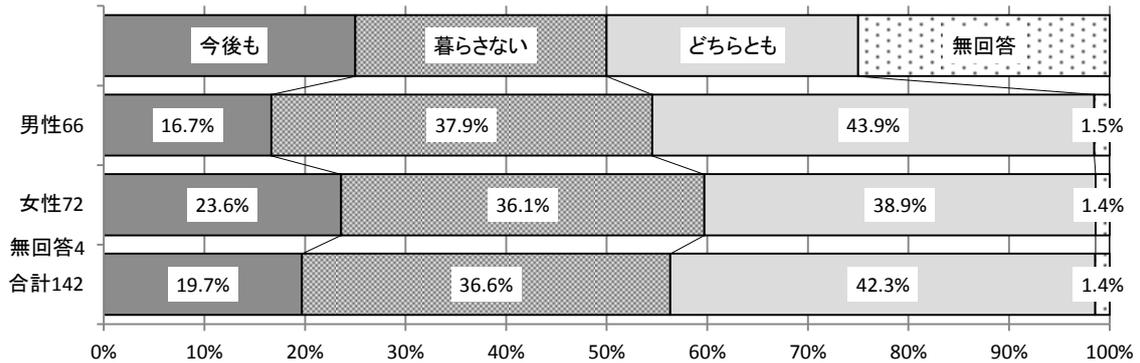
問5 今後も吉野町で暮らしたいか

問5 あなたは今後も(大人になっても)吉野町で暮らしたいと思いますか。  
 1.今後も(大人になっても)暮らしたい ⇒ 問6-1 へ  
 2.暮らしたいとは思わない ⇒ 問6-2 へ  
 3.どちらとも言えない

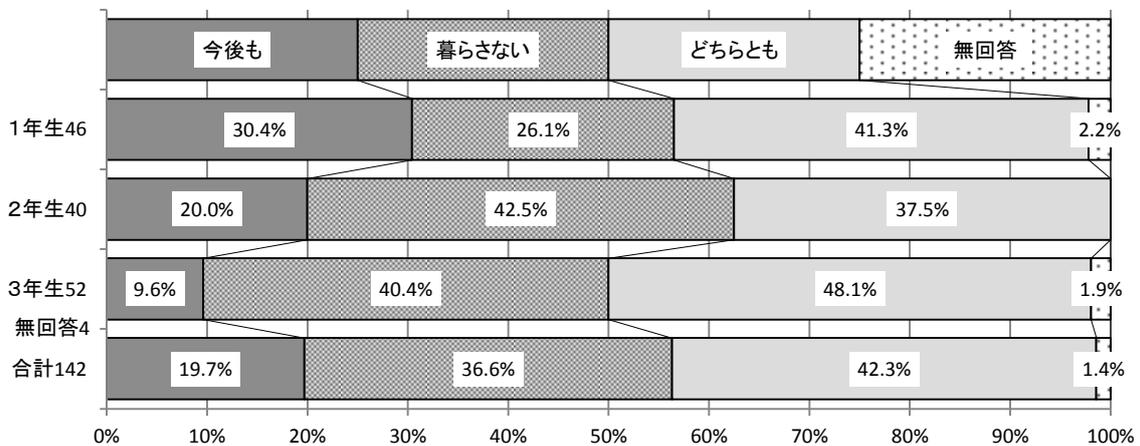
合計では、「暮らしたいとは思わない」が36.6%となっており、「今後も暮らしたい」の19.7%を上回っています。また、「どちらでもない」は42.3%となっています。前回の調査結果では、「暮らしたいとは思わない」が40.4%、「今後も暮らしたい」が26.9%、「どちらでもない」は32.1%となっており、前回の調査結果に比べると、「暮らしたい」「暮らしたいとは思わない」の割合がともに低下し、「どちらでもない」の割合が高まっています。地域別でみると、「暮らしたいとは思わない」の回答は、特に国栖、中竜門で50%を越えており、「今後も暮らしたい」を大きく上回っています。



男女別で見ると、男女ともに「暮らしたいとは思わない」が「今後も暮らしたい」を大きく上回っています。前回の調査結果では、男性は「今後も暮らしたい」と「暮らしたいとは思わない」が同数でしたが、「暮らしたいとは思わない」の割合が高まっています。他方で女性は「今後も暮らしたい」が20.3%、「暮らしたいとは思わない」が50.7%となっていました、「暮らしたいとは思わない」の割合が低下しています。



学年別で見ると、1年生は「暮らしたいとは思わない」よりも「今後も暮らしたい」と回答した割合が高くなっていますが、2年生と3年生は「暮らしたいとは思わない」と回答した割合が高くなっています。前回の調査結果でも同様の傾向となっていました。



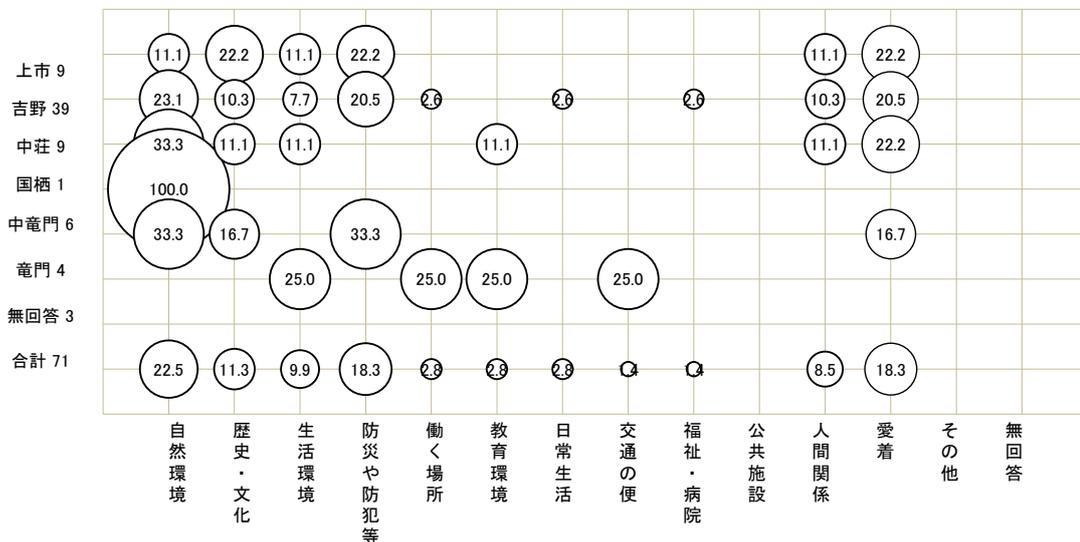
問 6-1 吉野町で暮らしたいと思う理由

問 6-1 吉野町で(大人になっても)暮らしたいと思う理由は何ですか。

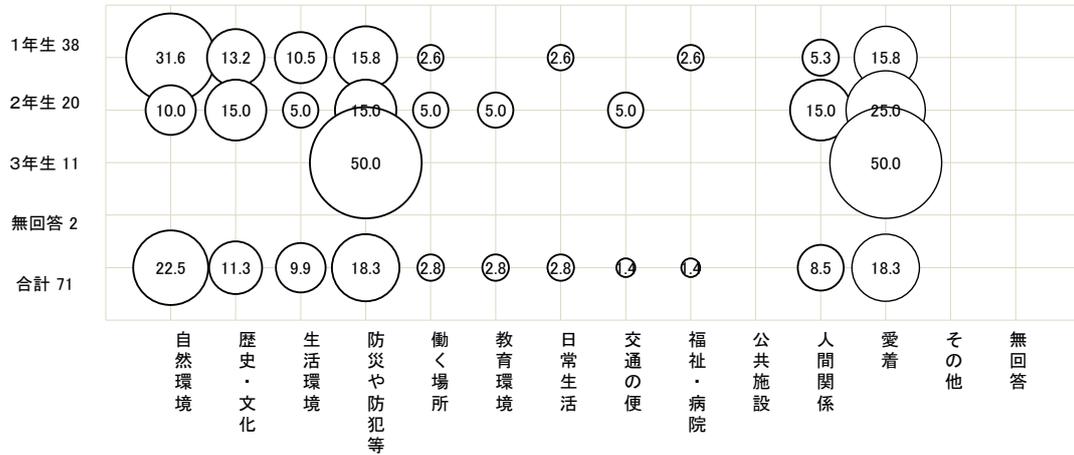
(3つまで○印)

- 1. 自然が多く環境が良い
- 2. 歴史・文化が豊かで魅力がある
- 3. 生活する環境が良く住み心地が良い
- 4. 災害や犯罪が少なく安全である
- 5. 働く場所がたくさんある
- 6. 学校などの学習する環境が良い
- 7. 買物など日常生活が便利
- 8. 道路や電車・バスなどの便が良い
- 9. 福祉や病院などのサービスが充実
- 10. 公共施設が揃っている
- 11. 地域での人間関係が良く、気心が知れている
- 12. 住み慣れていて愛着がある
- 13. その他( )

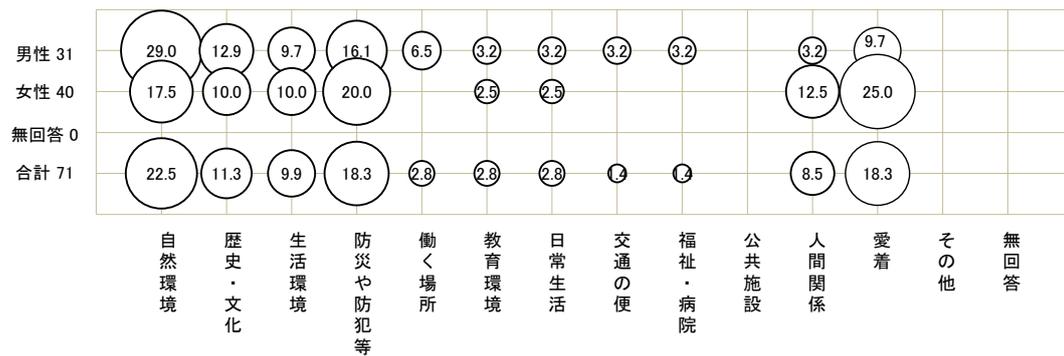
合計では、「自然が多く環境が良い」は 22.5%、「災害や犯罪が少なく安全である」18.3%、「住み慣れていて愛着がある」18.3%が暮らし続ける3大理由とされ、「歴史・文化が豊かで魅力がある」11.3%、「地域での人間関係が良く、気心が知れている」8.5%、がこれらに続いています。居住地別で見ると、全体としての傾向は大きくは変わらない結果となりました。



学年別で見ても、全体の傾向は大きくは変わりませんが、3年生で「災害や犯罪が少なく安全である」「住み慣れていて愛着がある」の割合が高くなっています。



男女別で見ても、全体の傾向に大きな違いは見られません。

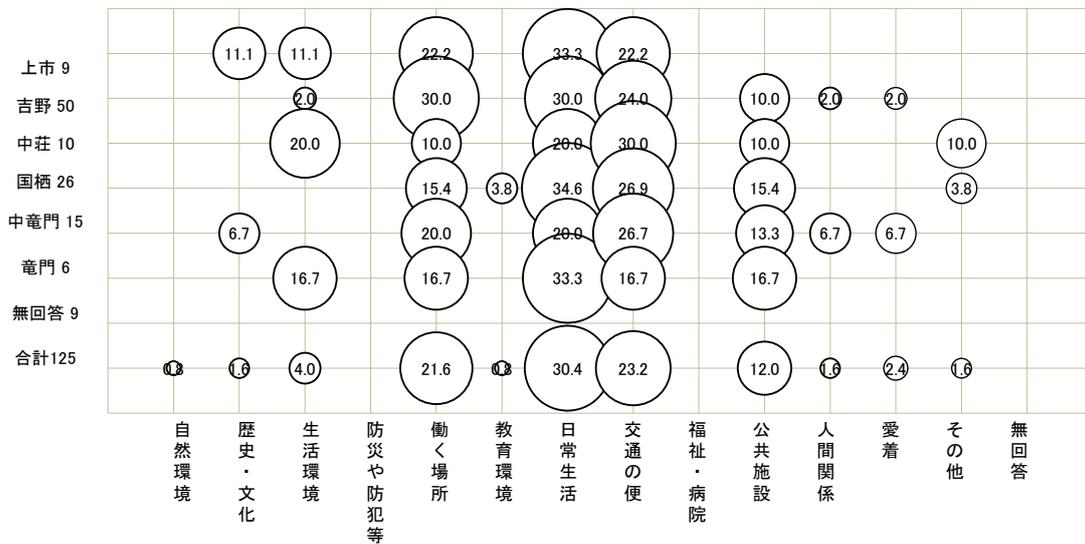


問 6-2 吉野町で暮らしたいと思わない理由

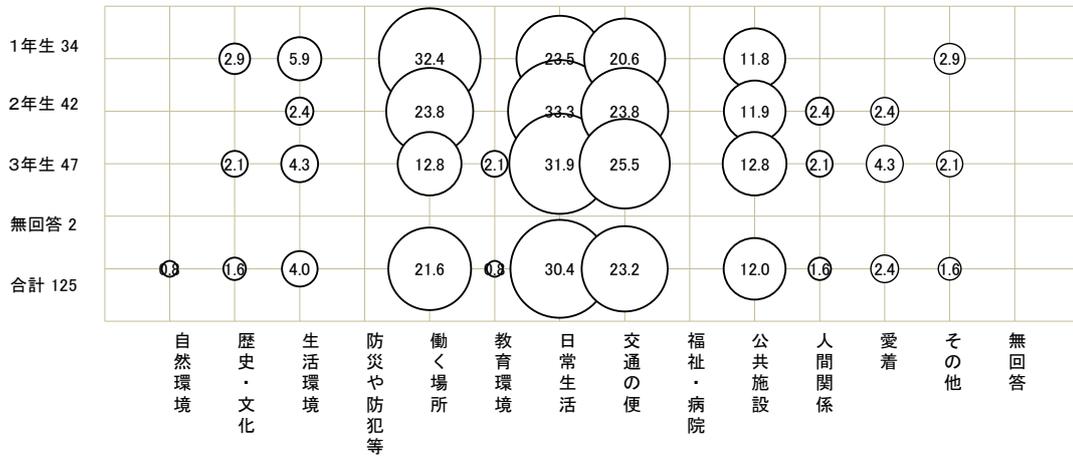
問 6-2 吉野町で暮らしたいと思わない理由は何ですか。(3 つまで印)

- 1. 自然が壊され環境が良くない
- 2. 歴史・文化が活かされず魅力がない
- 3. 生活する環境が悪く住み心地が悪い
- 4. 災害や犯罪が多く安全でない
- 5. 働く場所があまりない
- 6. 学校などの学習する環境がよくない
- 7. 買物など日常生活が不便
- 8. 道路や電車・バスなどの交通が不便
- 9. 福祉や病院などのサービスが不十分
- 10. 公共施設が整っていない
- 11. 地域での付き合いがわずらわしい
- 12. まちに愛着がない
- 13. その他( )

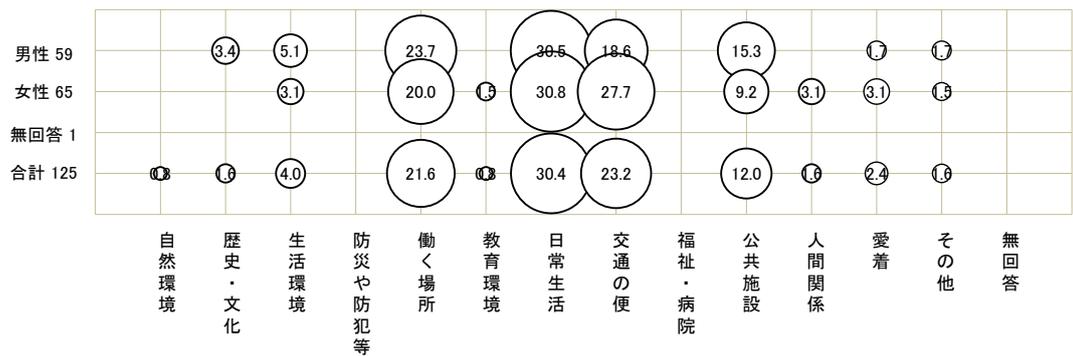
合計では、「買物など日常生活が不便」30.4%、「道路や電車・バスなどの交通が不便」23.2%、「働く場所があまりない」21.6%が暮らしたいと思わない3大理由とされ、「公共施設が整っていない」がこれらに続いています。その他の暮らしたくない理由は、分散しています。居住地別で見ても、各地域の第1～3位は「買物など日常生活が不便」、「道路や電車・バスなどの交通が不便」、「働く場所があまりない」が大部分を占めています。



学年別で見ても、同様の傾向が見られます。



男女別で見ても、同様の傾向が見られます。



Ⅲ 吉野町の将来像についておたずねします。

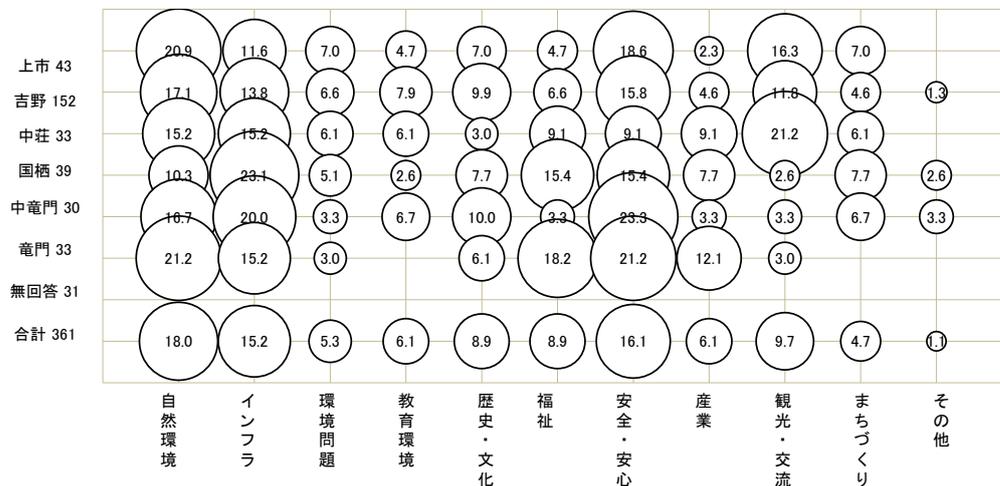
問7 これからの吉野町をどのようなまちにしたいか

問7 あなたは、みんなでつくるこれからの吉野町を、どのようなまちにしたいですか。  
(3つまで○印)

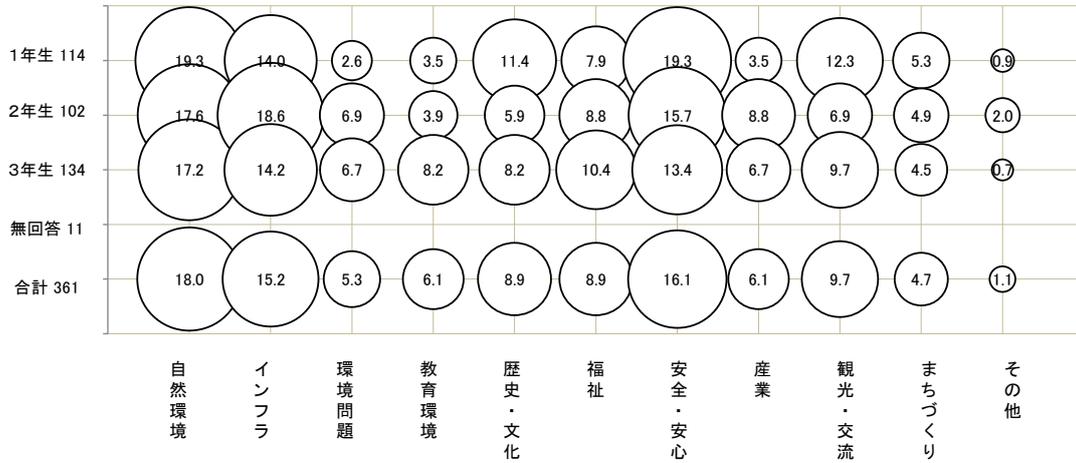
1.豊かな自然環境や景観を大切にするまち 2.道路や下水道、公園などが整ったまち  
3.省エネや環境問題に取り組むまち 4.子育てや教育に熱心なまち  
5.歴史や文化財を大切にするまち 6.みなが健康に暮らせる福祉が充実したまち  
7.災害や犯罪のない安全安心なまち 8.地域の産業が元気なまち  
9.観光や交流の盛んなまち 10.町民が積極的にまちづくりに参加するまち  
11. その他( )

合計では、「豊かな自然環境や景観を大切にするまち」18.0%、「災害や犯罪のない安全安心なまち」16.1%、「道路や下水道、公園などが整ったまち」15.2%と続いています。居住地別でみると、中荘で「観光や交流の盛んなまち」の割合が高くなっています。学年別、性別でみると、各項目で多少の差はありますが、全体として「合計」と同様の傾向にあります。

居住地域別



学年別



性別

